

A G A R O O T

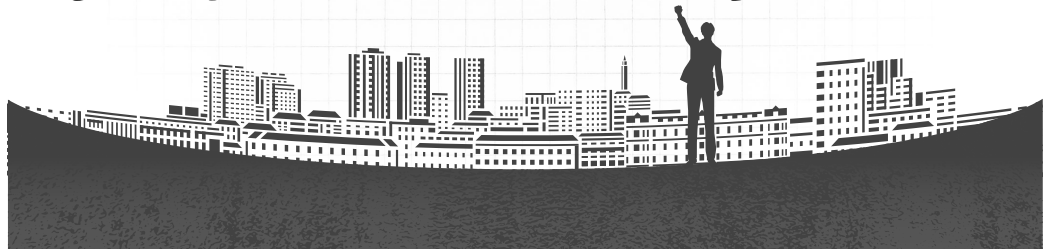
A C A D E M Y

合格

合格者の最短ルート

令和6年合格者

体験記



令和6年度

法科大学院入試合格

同じ教材を使い続けることでより正確な暗記ができた

K. I さん (20代前半)

大学既卒

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、早稲田大学 (既修)、東北大学 (既修/半額免除)

受講していた講座

知的財産法 / 総合講義、法科大学院入試専願カリキュラム / 関東圏

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選んだ理由は、私が大学に入ってからすべての授業がオンラインになったこともあって、馴染みのあるオンライン形式の予備校を探していたところ、ネット広告で一番よく見かけたのがアガルートアカデミーで、さらにネット上で一番評価が高かったため、アガルートアカデミーのサンプルの授業を視聴してみて、その解説がとてもわかりやすいと思ったからです。そして自分の勉強の状況を踏まえて、選ぶべき講座について相談したところ、丁寧に講座について回答していただき、最終的に法科大学院向けの教材を購入させていただきました。その後も追加で選択科目の講座を購入したのは、総合講義の内容について重要な部分がうまくまとまっており、初学者でも法律の概要をつかみやすくなっていたことに加えて、重要問題習得講座での問題が論点を適切にアウトプットでき、さらに論点の暗記のみならず自分で考える力を培えるような優れた問題がたくさんあったからです。

合格体験記

1年目は、論証集の暗記に頼った勉強をしていたため、覚えきれていない部分は全く論文で書くことができず、うまくいきませんでした。そこでアウトプットの量を増やそうと考え、重要問題習得講座を1年目よりも多く、何回も繰り返したところ、どの科目においてもより適切な論証をすることができるようになりました。この2年間で使った教材が、基本書をのぞいてすべてアガルートの教材だったので、同じ教材を使い続けることでより

正確な暗記をすることができたのだと思います。法科大学院入試ではその学校ごとに特色があるため、過去問を解くことは必須であると感じました。特にあまり手を伸ばしていない家族法や会社法の細かい知識を問われる問題を出す学校は、その問題については過去何度も似たような問題を出しているのです。過去問を解いた人が圧倒的に有利だと思います。現場思考を求められる問題を出すロースクールについては、まず問題をよく見て重要な考慮要素を見逃さないようにすれば、それに関連する論点も必ず見出せるはずです。

令和6年度

法科大学院入試合格

合格に至ったのもアガルートのおかげと感謝

K. Mさん (40代後半)

社会人

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、慶應義塾大学 (既修/全額免除)、中央大学 (既修/全額免除)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 早稲田大学、法科大学院入試過去問解説講座 / 中央大学
法科大学院入試過去問解説講座 / 東京大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、各科目の基礎的なインプットは、他の大手予備校の講座で受講した。法科大学院の受験にあたっては、大学ごとの傾向や解答形式に効率的に慣れるため、予備校の法科大学院過去問講座の受講が必須と考え、慶應については他の予備校の講座を受講した。ところが、その講座は、講師作成の答案例がなく、採点実感と合格者の再現答案のみだったため、結局のところどう書けばよいかの把握が難しく、あまり役にたたなかった。そこで、中央・早稲田・東大については、講師作成の答案例がある予備校の講座にしようと考えた。各予備校のサイトを見たところ、アガルートは、十分な合格実績に加え、法科大学院の情報提供が充実しており、予備試験のみならず法科大学院対策にも精通しているように見受けられた。このため、中央・早稲田・東大の法科大学院過去問講座については、アガルートの講座を受講することにした。アガルートの講座は期待以上のもので、各法科大学院への合格に至ったのも、アガルートのおかげと感謝している。

合格体験記

私の学習上の特徴としては、以下の3点が挙げられる。

第一に、予備試験を受験せず法科大学院に絞っていたが、予備・司法試験の短答の過去問を令和4年分まで全問解いた。これにより、暗記すべき知識を定着させることができた。

第二に、ワードファイルに、各科目の論証、あてはめの視点や論述にあたっての注意点をまとめたものを作成し (民法・刑法は150頁、民訴・刑訴は100頁、憲法・商法・行政

法は70頁程度)、それを、通勤時間などの隙間時間も活用して、繰り返し回して覚えた。論証は、世に出回っている論証を、過去問の論証例なども参考に、自分なりに覚えやすい形にブラッシュアップしていった。

第三に、六法に、講義や解いた問題に出た条文を、自分なりにマークし、それを何度か回して、条文の位置や構造等を含め、頭に入れた。マークの色は、原則部分は黄色、例外(但書)部分はオレンジにする等して、一見して分かりやすいように工夫した。

令和6年度

法科大学院入試合格

入試本番、把握できた論点はすべて思い出せた

赤嶺 明日風さん（20代前半）

大学生

合格した法科大学院

明治大学（既修／全額免除）、中央大学（既修／全額免除）

受講していた講座

予備試験最短合格カリキュラム、労働法 / 4 講座パック、法科大学院入試過去問解説講座 / 中央大学

重要問題習得講座、刑事事例演習教材解析講座

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座 / 基礎編 + 実践編パック、耳で覚える重要項目 300・1 問 1 答

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

他の予備校と比較して価格がリーズナブルでよいなと思ったのがきっかけでした。大学が私立なので、ダブルスクールをするにあたって、できるだけ金銭的負担を減らしたい自分にとっては丁度良いなと思いました。サンプル講義を受けてみたところ、講義が簡潔で理解しやすいと感じましたし、サンプルテキストがフルカラーで大学の授業で配布されるレジュメや基本書と比べると非常に見やすく、一目で論点等がわかるようにまとまっていたので、学習が効率的に進められるだろうと思いました。無料体験のセットの中にはかなり分厚い体験記が同梱されていて、合格された先輩のエピソードがたくさん掲載されていました。当時は司法試験を目指すことに少し躊躇している部分があったのですが、合格された先輩の話を読んだことで頑張って学習していけば受かるかもしれないと思って司法試験に挑むことに勇気が持てました。受講相談では、進めるべき講座を試験までの期間とともに教えていただけたので何をやるべきかが明確になってよかったです。

合格体験記

総合講義 300 で大学の授業の復習とともにすでに知識として頭から抜けてしまっているところや履修していなかった教科を学習していきました。一通りすべての教科の知識を確認した後、重要問題習得講座を進めていきそこで登場する条文を学び、論点がどのような場面で問題となって、どのように論述していくのかを体得していきました。答案の書き方

も答案例を見てざっと掴んでいきました。法科大学院入試の1年ほど前には過去問を確認して、どのあたりの判例・論点が出題されているかを把握し難易度はつかんでいました。そのうえで重問レベルの論点を書けるようになっておけば入試問題には対応できると思ったので、直前期は論証集をひたすら暗記していきました。Cランクの論点も太字の部分は最低でも覚えるようにしてA Bランクの論点は規範だけでなく理由付けも完璧に覚えられるように何周も短い間隔で回していきました。入試本番では把握できた論点で思い出せないものはなかったので勉強が功を奏したと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

ほとんど初学者の状態からスタート

川畑 直貴さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

早稲田大学 (既修)

受講していた講座

総合講義 300、重要問題習得講座、法科大学院入試過去問解説講座 / 早稲田大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

ロースクール入試を受験するに際して予備校選びをしていたところ、すでにアガルートを利用していたゼミの先輩・友人の勧めでアガルートを利用することに決めました。アガルートでは、講義のサンプル動画や資料が多数提供されていて、実際に講座を受講する前にも講義の様子や教材の内容などを確認することができて、予備校を選ぶうえで非常に有益でした。

実際の講義でも、とても丁寧で分かりやすい説明がされていて、かつ教材も視覚的に見やすいようなデザインが施されていて、法学部に在籍していながらもほとんど初学者の状態であった当時の私にとって、法律の基礎知識から体系的かつ網羅的に学ぶことができて、とても勉強になりました。

また、アガルートは他の予備校と比較しても一つ一つの講座の価格が安く、そのうえ講義も教材の質という面でも十分なものであると感じたので、コストパフォーマンスの面でも非常に優れていると思いました。

今後の学習においても、アガルートの講座や教材をうまく活用していきたいです。

合格体験記

アガルートでは、総合講義 300 と重要問題習得講座を受講していました。総合講義 300 でまず各科目の基本的な知識をインプットしたのちに、とにかく重要問題習得講座を何周もして問題演習に取り組んでいました。そうすると、最初は何を書いてよいか浮かばなかったような問題であっても、重問を何周もしていくうちに答案構成から起案に至るまで、素早く解法を導きだせるようになっており、そこで試験問題に対する自分なりの型を身に着

けることができました。

ロー入試直前期では、実際の試験時間で過去問に取り組みながら理解が曖昧な論点については、重問で再度確認するといったような勉強法を確立し、ロー入試本番まで継続しました。

また、電車での移動時間でもなるべく時間を無駄にしないようにと論証集などを活用して、基本的な論点を覚える作業をしていました。アガルートの論証集は論点ごとに重要度がランク付けされているので、優先的に覚えておかねばならない論点がすぐに確認できるので効率的に学習を進めることができたと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

以前は法律家になるつもりがなく、ゼロからのスタート

小林 弘幸さん (20 代後半)

社会人

合格した法科大学院

東北大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

自分がアガルートを受講したのは重問講座でアウトプットを強化するためです。その存在を知ったのは司法試験合格者の方々のブログでした。多くの合格者の方が重問講座の司法試験への効果を実感しているようでした。初期段階の学習では他校を利用していましたが、いざ本番の試験で未知の問題に出会うと解答に時間がかかりすぎて途中答案になったり、そもそも書くことが思い浮かばずに解答の分量がかなり少なくなったりとうまくいかず、1年浪人することになりました。失敗の原因としてアウトプット学習の不足があると考え、2年目の受験に向けてアウトプット教材として定評のあるアガルートの重問講座に申し込みました。

実際に受講してみるとはじめは全く歯が立ちませんでしたが、何度も周回していく中で問題文を見て解答の枠組みが見えるようになっていきました。答案や解説の質が高いのはもちろんですが、論点の網羅性が高いので周回するたびに力がついていくのを実感できます。

このおかげで、2年目の院試は1年目とは間違いに自信をもって試験に臨むことができました。本番では自分の勘違いで大問を丸ごと落としてしまったり、時間配分をミスして途中答案になってしまった科目があったりして授業料免除には届きませんでしたが、それでも約3.5倍の倍率の試験に通過することができました。重問講座で論述の力が底上げされていなければ今年の合格はなかったと思っています。

合格体験記

勉強を始めたのは学部3年時の年末年始からでした。自分は2年間休学していた上、休学前は法律家になるつもりは全く無かったため全くのゼロからのスタートでした。初期段階は、他校の講座を受講していました。4年次にはじめて大学院を受験しましたが倍率が10倍ととても高かったうえ、予備試験の過去問を解き始めたばかりで全く歯が立ちませんでした。大学を卒業して当然受かるだろうと臨んだ前期試験であと一步のところが届かずにもう1年浪人することになってしまいました。

1年目はひたすら予備試験の過去問と論証を吐き出すだけの基本問題だけを解いていました。そのため未知の問題に出会った時の対応力が不足していました。そのせいで時間が足りなくなったり、解答の枠組みがあやふやになってしまったりしていました。

そこで、合格者のブログやSNSでアウトプット教材として定評のあったアガルートの重問講座を受講することにしました。自分は未知の問題にあったときに素早く答案の枠組みを想起する力を鍛えたかったので答案構成だけにとどめてとにかく周回して使っています。最初はわからない問題が大半だと思いますが解説の後についている答案構成を見ながら問題文を読み直して、次回その構成を想起するには問題文のどの部分に着目すべきかを考えてメモしていくのがいいと思います。自分は合格した2年目の院試までに5周前後は周回していたと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

会場でも多くの受験生がアガルートのテキストを使用

B. Nさん (20代後半)

社会人

合格した法科大学院

大阪大学 (既修)

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、重要問題習得講座、論文答案の「書き方」

法科大学院入試過去問解析講座 / 京都大学、労働法 / 3講座パック、耳で覚える総合講義1問1答

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートをおすすめする理由は3点あります。

1つ目は多くの合格者が使っている点です。司法試験の講座を探している際に、司法試験合格者のシェア率が高くアガルートのテキストだけやっていたら十分戦えると考え、アガルートを選びました。実際受験会場では多くの受験生が最終確認として、アガルートのテキストを使用しており、自信と安心になりました。

2つ目は講座のわかりやすさです。民法の解説を担当していた渥美先生の講義を動画サイトで視聴しており講座を購入する際には渥美先生の講座を受講したいと考えていました。また講義時間が1つあたり15分程度なのも集中力がない自分にとっては有用でした。今日はここまで講座を聞こうなどとスケジュールを計画する際に非常に役立ちました。

3つ目はテキストのわかりやすさです。全てフルカラーであり他の講座とのリンク機能もあり不明な点が生じた際にリンク付けがしやすい点も有用に感じました。

以上の理由からアガルートをおすすめします。

合格体験記

去年は多くの問題集に手を出して失敗した経験があり、リベンジするために勉強の方向性を模索していたところ、合格体験記を読んで合格者の方に共通していたことは①最初とはにかく1周する②なんども繰り返すということでした。そのため1周目は理解よりも全体に触れることを意識して学習しました。2周目はわからないところには付箋を貼り、基

本書や総合講義に立ち返り学習をしました。また石橋先生の講座の使い方を参考にし、自分なりの答案構成をテキストに書き込みました。3周目以降は1日に実施する問題数を決めて答案構成をし、2周目に書き込んだ自分の答案構成との相違を確認し問題を進めました。試験直前には重要問題習得講座を2時間程度で1周できるくらいまでやりこみました。

実際にロー入試の刑法では重要問題習得講座に掲載されていた問題の類題が出題されほぼ満点の答案を記載することができました。また基礎の問題をこなすことにより習得できたため少し難しい問題にも食らいつくことができました。

令和6年度

法科大学院入試合格

全く馴染みのない論文答案が書けるように

朝比奈 録央さん (30代前半)

社会人

合格した法科大学院

名古屋大学 (既修)

受講していた講座

租税法 / 4講座パック、重要問題習得講座、総合講義 300、論文答案の「書き方」、法律実務基礎科目答練
予備試験答練、法科大学院入試過去問解説講座 / 名古屋大学 (一次)、予備試験 口述試験対策講座
予備試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートの方で、過去に論文答案の「書き方」講座・重要問題習得講座などの講座の受講歴がありました。過去には他の予備校でも受講歴がありましたが、論文答案の書き方についてはアガルートの講座が大変すばらしく、成績向上に大いに貢献してくれた実感があります。

論文答案の書き方は独特のものがあって、自分のような非法学部の人にとっては全く馴染みのないものでした。基本的な三段論法以外にも論文特有のお作法や各分野における論文の型や論点・判例の利用など、論文答案を作成する上で重要な事項が多くあります。基本書の通読では、そのような論文答案作成に特有の内容については把握することができませんでした。アガルートの講座を受けることで、そのような論文の書き方を学ぶことができたので、アガルートの講座に出会えたことは幸運だったと思います。

そのような経緯がありましたので、アガルートには厚い信頼を有していました。名古屋大学の法科大学院の講義を扱っている予備校も少なかったこともありますが、受験のためにはアガルートの講座を受講することは当然のものと認識しており名古屋大学対策の講義の受講も決めました。

合格体験記

名古屋大学のHPから過去問を見ていただければ分かりますが、名古屋大学の問題は一

行問題と事例問題がそれぞれ1～2題ずつ出されます。一行問題については、基本的な用語の説明を求められることが多いですが、年によってはマイナーな用語の説明も求められることがあります。分野も幅広い中から出題されますので、一行問題については対策は困難だと感じました。

一方、事例問題については、そこまで難しくなく一般的な内容の問題だと認識しています。内容としては、予備試験の問題と出題形式が類似しており、予備試験の論文式試験よりも大分難易度が低い印象です。そのため、一行問題の対策を目指すよりは、一般的な勉強をしつつ、論文答案作成についての勉強に注力することが望ましいと思います。

論文答案作成のためには、各大学の個別講座を受講するだけでなく、論文答案の「書き方」講座、重要問題習得講座の受講も強く推奨されると考えています。論文答案の書き方は独特のものがあ、基本書の通読だけでは身につかないため、別途対策が必要だと思います。アガルートの上記講座は大変すばらしく、この講座を受講するだけでも十分論文答案が書けるようになります。

私は予備試験の受験対策もしており、上記の講座を受講していました。上記の講座のおかげ論文答案が書けるようになり、予備試験論文式試験受験後には、追加でそこまで勉強しなくても名古屋大学法科大学院の問題に簡単に対応することができ合格をすることができました。

将来的には司法試験の受験が控えていることも考えると、法科大学院進学を考えている方も司法試験予備試験対策のような勉強をすることも無駄にはならないと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

一度目の受験で失敗した反省を活かして

秋田 梨帆さん (20 代前半)

社会人

合格した法科大学院

京都大学 (既修)、神戸大学 (既修)

受講していた講座

倒産法 / 4 講座パック、予備試験 1 年合格カリキュラム、法科大学院入試過去問解説講座 / 京都大学
法科大学院入試過去問解説講座 / 大阪大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーの受講を始めたのは 2022 年でした。

2020 年 4 月に大学に入学した私は入学早々コロナ禍に直面し、新生活の幕開けは予想とは異なるものでした。法学部に入学しましたが、オンラインでの授業のためもちろん同じ学部の友達とはほとんどできず、頼れる教授もいませんでした。そのまま 3 回生になり、法曹になることを志しましたがそのために何をすれば良いのかわからず、ひとまずネットで検索しました。さまざまなサイトが目に入り、そこには別の大手予備校の名前もありました。しかし、大学の授業すらオンラインで受けていた私にとって予備校に通うことはストレスでしたし、いつ対面での授業が受けられるようになるかわからないという状況も不安でした。

そして、「コロナ禍だからオンライン授業をしている」他の予備校よりも、「オンラインのために作られた授業をしている」アガルートの方が快適に学べるという印象を受けました。サンプルのテキストを見てもレイアウトや配色などが非常にわかりやすく、私に合った効率的な学び方ができると確信しました。

合格体験記

私は一度目の法科大学院受験で京都大学のみを受験し、失敗しました。

残り時間が短いことに焦り、インプットのみを重視したことが失敗の原因だったと思います。演習問題についても、答案や解説から情報をインプットすることはばかりを意識して進めてしまっていました。今回の受験では、その反省を活かしアウトプットを意識して学

習しました。

まず、それまでにやってきたことを信じて繰り返しインプットすることはやめました。この時点では全く情報が頭に入っている自信はなかったですし、問題を読んでもインプットしていたはずの情報が出てこず不安になることばかりという状況でした。

しかし、演習問題や予備試験の過去問などを解く際に自力を使うことを意識し、他のテキストで調べても良いからひとまず自分で答案を書き切るようにしていると、自分は何がわかっていなかったのか、何が苦手なのかが見えるようになりました。間違ったことを書いていた場合でも、解説やテキストを見れば解決できたことがよかったと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

必要としているピンポイントの講座を受講できる

河□ 創太さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

大阪大学(既修)、神戸大学(既修)

受講していた講座

国際私法 / 予備論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーの講座を受講することに決めた理由は三つあります。

一つ目は、合格実績に加え、周りの知りで受講している人が多かったからです。法律の学習は高校までの学習と違い、どのように進めていくべきなのかということが分からなかったので、自分の学習の仕方が間違っていないか、周りのやり方を見て確認しながら進められると思いました。

二つ目は、受講生の気持ちを理解してくれると思ったからです。というのも、アガルートアカデミーでは、講座以外にも、YouTube等でロースクールの特徴や、司法修習後の就職等、私が気になっている内容についてたくさんの情報を発信してくれており、受講生が興味をもつ内容をよく考えているのだなと感じました。

三つ目は、講座を選ぶ際に選択肢が広がったことです。司法試験合格のためには、ロースクールの学費や教材費等、講座の受講以外にも多額の費用がかかります。そのため、高額な講座よりも、自分が必要としているピンポイントの内容の講座を受講したかったのですが、そのニーズに一番合った講座を提供してくれたのがアガルートアカデミーでした。

合格体験記

ロースクール入試において、最初の問題としてどのロースクールをいくつ受験するのか決めることでした。各ロースクールごとに受験科目や出題範囲が異なるため、いくつも受験すればその分準備にかけられる時間が減り、また受験料も高額になります。そのため、

まずはアガルトアカデミーの発信しているコラムの内容を参考に、受けるロースクールを自分の学力に合った三校に絞りました。

ロースクール合格のために行った具体的な学習としては、過去問を解き、内容を分析することでした。過去問を解くことは単なる学習としての効果だけでなく、その大学の入試のレベル感を知ること、出題の傾向を知ることにつながります。一部のロースクールでは、憲法は基本的に人権しか出題されなかったり、数年前の司法試験の問題に手を加えていることが多い等、過去問を解くことで様々な発見がありました。もっとも、それ以外の学習については特別なことはせず、自分が忘れていた基礎的な知識を復習することに充てました。

令和6年度

法科大学院入試合格

「こんなもの書けるわけがない」→すべて合格

山田 陸さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)、大阪大学 (既修)、神戸大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 神戸大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを知ったきっかけは学部の優秀な友人が予備試験対策で利用していたことにあります。2 回生時に自分も予備試験を目標に様々な予備校の受講を検討しましたがアガルートを予備試験対策として利用するには至りませんでした。ただ、色々な受験生や同級生からの情報を得ていく中で重要問題習得講座いわゆる重問の有用性を耳にしアガルートに興味を持ちました。まずは市販されている論証集を購入し基本書などの他の情報と組み合わせで自分なりにブラッシュアップしていく学習を行いました。学部の定期試験の評価もそのような勉強に切り替え出した頃から秀、優が頻繁につき始めアガルートの市販の教材には大変感謝しています。学部4 回生に上がる年の春休み、そろそろロースクール入試の対策を始めようと考えていた時、何からすれば良いのか全く分からなかったのですが、自主ゼミを組んでいる友人から勧められた京都大学過去問解説講座を受講するに至りました。

合格体験記

私が、受験したすべてのロースクールに合格したのは、直前期に過去問の検討を過去5 年分ほどしっかりと行ったことに起因すると断言します。ただ、ロースクール入試を意識して勉強をし始めたのは4 回生に上がる年の春休みで学習初期は受験校もまだ決めていなかったので過去問を見ることはしませんでした。まず行ったのは3 人ほどで自主ゼミを組んで自分の大学の学部定期試験の過去問を起案し答案を見せ合い疑問点を話し合うことで

す。学部定期試験は分野ごとに出题範囲が限られているので予習が少なくて済み、また忘れていた1、2回生時の学習範囲を夏までに復習できたことも良かったと思います。夏以降は過去問解説講座を購入し答案構成で1周し、2周目をフル起案するという方法で過去問に触れました。1周目は答案例を見てこんなもの書けるわけがない、先輩はどうやって合格したのかと不安に陥りましたが、全てを書く必要はないとゼミの教授からアドバイスをいただき答案例から必要不可欠な記述を確実に覚えるように努力しました。ロー入試の過去問は複数分野の横断事例であることが多く答案例を読むだけでも十分勉強になりました。学校により出题傾向、問題形式、出题範囲が大きく異なるので過去問演習は必須かつ今後の司法試験に向けて非常に有益な学習だったと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

初めてテキストを読んだときの衝撃

T. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

早稲田大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試専願カリキュラム / 関東圏

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだ理由は、資料請求をした際に郵送されたサンプルテキストが大変わかりやすいものであり、また合格体験記においてアガルートアカデミーから私の志望校に合格された方が複数人確認できたからです。初めてアガルートアカデミーのテキストを読んだ際には、自分がこれまで大学において法律の講義で使用してきた書籍とは全く異なる、条文の論点や判例の要旨を簡潔かつ明瞭に示したものに衝撃を受けました。

また、講義や論文の添削等の全てがオンラインで完結させられるという点もアガルートアカデミーを選んだ理由の一つです。ビデオでの講義ならば、理解の済んでいる分野は早送りが可能であり、気になった箇所は即座に確認可能であることが有用であると感じたからです。更に、私は複数人での勉強よりも一人での勉強を好んでいたため、実際に予備校に通うことなく、学習の全てを自分のペースで他者と直接に関わりずに行えるというアガルートアカデミーのシステムは非常に魅力的なものでした。

合格体験記

私がアガルートアカデミーでの学習を始めたのは法科大学院の試験がある年の1月からであり、学習期間は1年未満と比較的遅れたスタートでした。それでもまずは基礎が身についてなければ何もできないと考え、第一に「総合講義 300」の受講から始めました。また、各科目について、総合講義の視聴を全て終えたらすぐに「論証集の『使い方』」の講義を視聴し、総合講義で得た知識をおさらいしつつ、忘れていた点の確認を行っていました。法科大学院の試験科目となる各科目について上記の学習を終えた段階で、「論文答案の『書

き方』」の講義を視聴しました。この講義を視聴し論文の例題に取り組む中で、論文答案を作成するためには自身の知識が不足していると実感したため、本格的な論文の対策の前にもう一度各科目について「論証集の『使い方』」の講義を1周視聴しました。その後は試験に向けてひたすら「重要問題習得講座」の講義で論文答案の作成の練習を行い、入試直前には過去問の演習を行いました。

令和6年度

法科大学院入試合格

合格実績の高さと学習サポートの充実

A. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

神戸大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 神戸大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由はいくつかありますが、最も大きな要因は合格実績の高さです。特に、アガルートの講座は合格率の高さで知られており、多くの受験生がこの講座を利用して結果を出している点が魅力的でした。また、カリキュラムの質と効率の良さも選択の決め手になりました。他の予備校と比較して、アガルートはインプットとアウトプットのバランスが取れており、短期間で実力をつけられるように設計されています。たとえば、テキストが非常に体系的で、無駄なく知識を整理できる構成になっているため、学習効率が向上します。また、講義動画も1本あたりの時間が適度に設定されており、集中力を維持しながら学習を進めやすいと感じました。

最後に、コストパフォーマンスの良さも重要なポイントでした。他の予備校に比べて受講料が比較的抑えられているにもかかわらず、内容の充実度は非常に高いため、コストを抑えつつ合格に必要な力を身につけられると判断しました。こうした理由から、アガルートを選びました。

合格体験記

神戸大学法科大学院を目指すにあたり、私は基礎力の徹底的な養成と、過去問分析を軸にした対策を行いました。神戸大学は法学的思考力と論理的な表現力を重視する傾向があるため、それに適応した学習を心がけました。

基礎学習では、基本書を最大限に活用しました。その際には、法律の条文・判例の趣旨を深く掘り下げる内容で、特に憲法・民法・刑法といった主要科目の理解を深めるうえで役立ちました。法律の原理原則をしっかり押さえることで、神戸大学が出題する論述問題

にも対応できる思考力が培われました。

その後、アガルートの法科大学院過去問解説講座を通じてアウトプットの精度を高めました。その後は、特に神戸大学の過去問や類似の問題を意識して答案を書き、自分の弱点を把握しながら修正を繰り返しました。過去問演習では、問題文の趣旨や出題意図を読み解き、どのような論点を重視するかを考えながら解答する訓練をしました。以上が、合格できた要因であると考えます。

令和6年度

法科大学院入試合格

何から勉強したら良いのか全くわからない→合格へ

Y. Nさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

早稲田大学 (既修)、京都大学 (未修)

受講していた講座

経済法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション
法科大学院入試過去問解説講座 / 一橋大学、耳で覚える総合講義 1問1答

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は2022年の頃にマネージメントオプション (マネオプ) を取っていました。マネオプを取った理由としては、他学部だった私にとって、何から勉強したら良いのか、どれくらいのスピードで勉強したら良いのか全くわからなかったため、そこを指示してくれるという点に惹かれたからです。また、当時は大学の近くにラウンジがあり、部活もしていた私にとっては勉強しやすい予備校だったのも、アガルートアカデミーを選んだ理由の一つです。

他にも、アガルートアカデミーの講座が他の予備校と比べて安く購入しやすかったことや、有名講師の方々が多数在籍していらっしゃることで、テキストがフルカラーであること、重要問題習得講座などの評判の高い講座があること、なども選んだ理由に挙げられます。また、オンラインで授業を受けられることから、部活や学部の勉強、一人暮らしの家事等に追われて時間のない私に取っては、一番授業を受講しやすい予備校であったことも、アガルートアカデミーを選んだ理由です。

合格体験記

2年～3年の時は、どうしても部活と大学の授業が忙しく、マネオプの進捗にもなかなかついて行くことが出来ませんでした。ですが、マネオプを取っていたことで、全く勉強しない日などはなく、常に法律に触れていたということが、後々に活きた点だったかと思っています。3年時の短答後、法律は知っている、程度のレベルにしか至っていないことを自

覚し、もう一度全科目基礎から徹底的にやりこみました。演習と共に基本書や総合講義のページに戻り知識を確認し、それを論証集に一元化するという勉強を根気よく続けました。どうしても時間があまり割けなかったので、大体毎日3～5時間、部活がない日や休みの日は5時間は最低勉強する、といったようなリズムでした。

また、時間がなく、ロー入試も受かるかどうか分からないレベルだったので、4年時の予備試験は捨てて、短答の勉強は全くせず、とにかく論文の勉強のみを続けました。そして、直前期には、書き方はある程度理解できていることに気づき、暗記が足りないと思ったため、ひたすら論証集を復習しました。

令和6年度

法科大学院入試合格

教材の見やすさは学習効率や理解度に大きく影響する

青塚 丈さん (20 代前半)

社会人

合格した法科大学院

東北大学（既修）、金沢大学（既修）

受講していた講座

知的財産法 / 4 講座パック、予備試験最短合格カリキュラム / コーチングオプション

法科大学院入試過去問解説講座 / 東北大学（後期）、法科大学院入試過去問解説講座 / 東北大学（前期）

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は他の様々な予備校の合格実績や価格、利用者の声を比較し、アガルートアカデミーを選びました。その中でも、アガルートを選択するきっかけになったのは、教材の見やすさです。アガルートの教材は、見た目の見やすさだけでなく、すべての教材に統一性があり、学習効率や理解度に大きく影響すると思いました。実際にアガルートの教材を使用してみて、教材のほぼ全てに学習内容が相互関連する部分を検索参照できるクロスリファレンスが用いられており、教材に互換性があるため、とても使いやすいと感じました。例えば問題を解き、解説を読んでも理解が十分でない場合に、すぐに総合講義テキストに戻って基本を確認することができるため、理解を深めることができます。法律の学習は覚える必要のある基礎知識だけでも量が多く、1回の学習で完全に記憶することが不可能であるため、反復学習によって知識・理解を定着させる必要があると思います。アガルートの互換性のある教材はそのような反復学習の学習効率を高め、重要な基礎知識を定着させる上で特に優れていると感じました。

合格体験記

私は大学3年次の1月からアガルートの講義を受講し始めました。当初は法科大学院への進学を考えておらず、法科大学院入試の対策を始めたのは大学4年次の5月でした。1年目の大学院入試では学習のスタートが遅く、学習量が圧倒的に不足していた為、受験したすべての大学院が不合格でした。この結果を踏まえ、基礎の学習を一からやり直し、1

年間学習した事で2年目の大学院入試では複数の大学院に合格することができました。以上の経験から私が感じた法科大学院入試を受ける上での重要なポイントは2つあります。

1つ目は基礎です。大学院によって入試の難易度に差はありますが、法科大学院入試では法律の基礎知識を問う問題が殆どです。他の受験生も基礎知識は確実に押さえてきているので、基礎知識があやふやでは他の受験生と差がつくことになります。当然ですが、基礎知識を確実に定着させることは合格する上で必要不可欠と言えます。2つ目は過去問の対策です。法科大学院入試は各大学院によって科目数も出題傾向も大きく異なり、場合によっては論述式だけでなく穴埋め問題や短答式の問題が出題されることもあります。過去問は各大学院のホームページ等に掲載されていることが多いので、自分が志望する大学院の過去問を解き、傾向を掴んだ上で学習を進めることで合格に近づくことができると感じました。

令和6年度

法科大学院入試合格

約3か月ほどの勉強で合格

藤本 恒希さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

神戸大学 (既修)

受講していた講座

予備試験最短合格カリキュラム、判例百選スピード攻略講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

法曹を志望する以前から定期テスト、期末テスト対策として市販のアガルートの参考書(実況論文講義、総合講義1問1答)を使用していました。市販の参考書レベルで他の予備校に比較して完成度が高く、勉強しやすいテキストでした。そして司法試験を目指そうと志した時に、他予備校よりテキストのレベルが高く、且つコスパもよかったので受講を決めました。私は法曹コースに属しながらも法曹志望を決めたのは3年次になってからです。法曹コースの人は基本的に3年次にロースクールを受験するので今から受講して間に合うのかとても不安でしたが、受講前にアガルートのオンライン面談でまだ間に合うよ、と具体的な勉強手順を教えてください、不安が解消したのが良かったです。

また、講座を利用したことのある先輩からも他塾に比べて網羅量を確保しつつも最低限のエッセンスが纏められていると聞きました。あくまで試験合格のための塾なので、他予備校のようにベテラン受験生養成塾では意味がありません。

上記より、アガルートを利用することに決定しました。

合格体験記

私は、3つの下記講座と論証集を活用し、合格しました。

まず、総合講義300です。これは最低限の基本知識がまとめられています。今までテストは論証丸暗記で臨んでいた私にとって、どこで、どの条文を使って、論点を解決するのかを体系的に学ぶことができたと思います。私は時間があまり無かったので基本的に講義はあまり聞かず、テキストのみで勉強していましたがテキストのクオリティが高かったので充分でした。

2つ目は、先行配信の民法です。最短合格フルカリキュラムを受講した際に、昨年度の民法の講座が先行配信されます。私が受験したローは民法の点数が他科目より2倍程の配点があったので民法が勝負だと思いました。総合講義は本当にテキストが充実しており、ここで民法が苦手にならずに論点処理方法を理解したことが一番の要因だと思います。最後に、重問講座です。言わずと知れた人気講座ですが、この講座に付属している解答例は、しっかり三段論法を意識して論述しているのでどう書けばいいのかを理解できました。

上記に加え論証集を周回することで約3か月ほどの勉強で合格できました。

令和6年度

法科大学院入試合格

添削が自分の癖を把握するきっかけに

Y. Tさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)

受講していた講座

予備試験最短合格カリキュラム、労働法 / 4講座パック、予備試験 口述試験対策講座
旧司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーの講座を選んだ理由は、他の予備校と比べて費用が比較的安価であるにもかかわらず、効果的に学習を進めるために十分であると感じたからです。まず、候補にしていた他の予備校と比べて自分が選んだ当時はかなり安く、その安さが魅力でした。また、過去問や演習問題に重点を置いたカリキュラムは、自分の勉強に対する考え方にもマッチしていました。一度に基礎講義を全て受けて知識を固めてから問題演習に入ってくよりも、問題演習という実践形式を通して知識を固めていく方が、より実践に役に立つ状態で知識が身につくと思います。最初の受講相談の時にもその点を力説されていたと記憶しています。

合格体験記

基本的には最初に渡されたスケジュールに沿って学習を進めていました。まずは、総合講義を聞いて基礎知識を入れ、つぎに書き方講座で簡単な事例問題を解いて答案を書くイメージをつけ、重要問題習得講座で典型論点に対してどのような答案を書くべきかを学びました。そのサイクルを7科目繰り返し、そこから予備試験の過去問と重問の2周目を始めました。最初の頃は論証集の暗記もあり進んでいない中で難易度の高い問題を解く状態が続いたため、うまくいかないことがほとんどでしたが、根気よく論証集の暗記を続けながら予備試験の過去問と重問のサイクルをこなしていくうちに少しずつ力がついて行ったように思います。加えて、定期的に重問の添削問題を解き、添削を受けて自分の答案の書き方を修正していきました。添削は自分の答案を理解する上で非常に役に立ったと思っ

ています。法律論が書けたかどうかというよりも、答案の形式や表現の仕方など問題と模範解答を見るだけではわからない自分の癖を把握するきっかけになったと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

選んだ理由は講師の質の高さ

宮本 純和さん (30 代前半)

社会人

合格した法科大学院

京都大学（既修）

受講していた講座

労働法 / 4 講座パック、労働法 / 重要問題習得講座、予備試験 1 年合格カリキュラム

法科大学院入試過去問解説講座 / 京都大学、司法試験答練、予備試験論文式解答解説、過去問から学ぶ「判例の射程」
司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由は講師の質が高いことにあります。私は予備試験 1 年合格カリキュラムを受講していましたが、アガルートの先生の講義は非常にわかりやすかったため、ロースクールの受験にあたってロースクール対策講座を受講するならばアガルート一択でした。ロースクールは各学校で過去問をだいたい 5 年分程公開していますが、解答は公開されておりません。自分で過去問を解いて、それが合っているかを確かめるには、ネットで公開されている再現答案を参考にするしかありません。しかし、再現答案は誰が書いたものであるかも定かではなく、その答案が正しいのかもわかりません。このような状況の中で、ロースクール受験の対策が出来ずに悩んでいました。そこで、アガルートのロースクール過去問解説講座を知りました。アガルートの過去問解説講座では該当のロースクールの過去問を 5 年分解説してくれ、参考答案ももらえます。そして、参考答案はアガルートの講師が作成したものであり信頼できます。そして、私はこの講座のおかげで対策をすることでき、合格を勝ち取ることが出来ました。

合格体験記

私ははじめロースクールの受験を考えていませんでした。予備試験の合格を目標としていたためです。1 回目の予備試験の論文に落ち 2 回目を受けるにあたって、在学中受験の制度も始まったこともあり、ロースクールも予備試験と並行して受けておこうと考えました。

予備試験を勉強していたこともあって、基本的な論文の知識はある程度自信がありました。そこで、ロースクールを受かるために自分に足りないものは各学校に対する対策（私の場合は京大対策）であると考えました。アガルートのロースクール過去問解説講座（京大）を受講しました。具体的な勉強方法としては、京大ロースクールの過去問を解き、解説講義を聞き、参考答案をチェックすることを過去問5年分繰り返しました。予備試験の基礎講座だけでもロースクールに受かることは不可能ではないとは思いますが、各学校それぞれに予備試験とは異なった特徴があります。京大であれば、予備試験の論文にはないような、手形法、統治をガッツリ聞いてくるといった特徴がありました。やはり合格を勝ち取る上で重要なことは、基本的な論文知識をマスターした上で、各学校の特徴を踏まえた対策を立てることにあると思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

ニーズにピンポイントな講座を購入できる

H. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

慶應義塾大学 (既修)

受講していた講座

総合講義 300、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

民事系の重要問題習得講座が出来が良いと評判だったため、アガルートに興味を持ちました。周囲は百選を使いこなして学習しており、私も百選での学習をしようと考えていました。しかし、百選は思っていたよりも分量が多く、ロー入試までに1周も終わらなさそうであったため、論証集を使用して重要度の高い論証に絞って学習したいと思い、予備校の検討を始めました。他の塾は、論証集が法学初学者向けの講座とパックでしか販売していなかったり、特定の科目のみを購入することができなかったりと、ニーズにピンポイントな商品がなく、それに伴って費用も高額でした。私はすでに学習していた科目もあったため、パック購入は費用と時間の無駄であると感じており、まだ未学習の特定の科目の総合講義と全科目の論証集が販売されている予備校を探していたところ、アガルートはこれらの条件を満たしており、費用としても自身のお小遣いから出せる範囲であったので、購入に至りました。

合格体験記

私は学習を始めるのが遅く、他人よりも学力が低いことが明らかでした。他方、焦って睡眠時間を削ると、1日中何も頭に入ってこず、同じ文を何度も読まなければ理解できないような、かえって非効率なコンディションとなることに気づき、睡眠は8時間以上取るよう心掛けました。このように時間が限られてくる中でいかに学習するか戦略を考えたところ、すべての科目を中途半端に学習し、すべての科目で平均点を取るよりも、苦手な科

目は平均以下でも得意な科目を跳ねさせるほうが良いと考えました。具体的には、得意な科目については百選を読んで徹底して取り組み、苦手な科目については問題理解に必要最低限必要となる、論証集でいえばAランクの論点だけに集中して取り組みました。結果として、ロー入試本番、得意な民法で論証集に載っていない主要論点を抽出してこれを書くことができ、憲法・刑法についても細かい部分までしっかり書くことができたため、無事合格することができました。

令和6年度

法科大学院入試合格

この先生を信じれば絶対に大丈夫と思えた

M. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東北大学 (既修)

受講していた講座

総合講義 100、重要問題習得講座、法科大学院入試過去問解説講座 / 東京大学、総合講義 300
短答式試験「重要トピック攻略講座」、判例百選スピード攻略講座

合格体験記

アガルトアカデミーを選んだ理由

アガルトアカデミーを利用して志望している法科大学院に合格された先輩方が複数名おり、その方々からの薦めがありアガルトを利用しての法科大学院入試対策をはじめました。私の場合は、学部3年次に進級する段階から学習を開始したのですが、そうした周囲の環境があったため、予備校選びに苦戦するということはありませんでした。正直なところ、志望する大学まで幅広く対策講座等が用意されている予備校はアガルトしか無いと考えて有料講座等を活用させていただきましたが、こうした迅速な決断が奏功したのだと考えられます。仮に予備校選びに時間を取られてしまっていたら、比較的短時間で現在の成果を得ることは困難であったと考えるため、この点は非常に満足しております。もう一つの理由としては、講師陣の評判が高いことにあります。この先生のおっしゃることを信じれば絶対に大丈夫と考えながら学習を進めることができると考えたことが成功へのカギとなっていたと考えます。

合格体験記

上述の通り、法科大学院の既習者コースを受験し、なんとか合格しました。入試では法律知識の正確さに加え、端的な論点を押さえた記述が必要となるため、計画的な学習を心がけました。まず、基本書と判例集を活用し、重要論点を整理しました。特に判例は、結論だけでなく理由付けを理解し、自分の言葉で説明できるようにしました。その後、過去問や問題集を繰り返し解き、答案作成の型を確立しました。論述試験では、時間配分を意

識しながら字数制限を意識して問いに正確に答え、論理的な構成を意識しました。また、大学で自主ゼミを組んでいる他の受験生と答案を相互添削し、異なる視点を学ぶことで、より説得力のある答案を書く力を養いました。試験本番では、時間配分に気をつけつつ、シンプルで明快な答案を心がけました。その結果、無事に合格を勝ち取ることができました。法科大学院入試は知識だけでなく思考力も試されるため、基礎を大切にしつつ、実践的な演習を積み重ねることが重要だと感じています。

令和6年度

法科大学院入試合格

ここまで網羅している問題集はおそらく他にはない

Y. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)

受講していた講座

倒産法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム、予備試験 口述試験対策講座、判例百選スピード攻略講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

予備試験・法科大学院の受験のための予備校としてアガルートアカデミーを選んだ理由の一つとして、アガルートのオンライン講座は自分の予定に合わせて、場所を選ばずに勉強できるという点が挙げられます。そのため実際に私も家の中や、学校の隙間時間で受講し、柔軟なスケジュールで勉強を進めることができました。

また、合格者数などの実績の優秀さも大きな要因です。近年、アガルートの受講生や、アガルートからの合格者が増加しており、他の大手予備校と比較しても高い合格実績がある点で信頼感があったことも大きな決め手となりました。

そして他の大手予備校に比べて価格がリーズナブルである点も魅力に感じていました。司法試験の受験には一般的に多額の費用がかかりますが、アガルートはセールなどを行っているため安価に授業を受けることができました。質の高い指導を受けながらも、費用負担を抑えることができる点で、経済的にも無理なく学習を続けることができ、その点が大きな長所だと思います。

合格体験記

私の学習の中で特に重要だったと感じたのは、アガルートの「総合講義」「重要問題習得講座」「論証集」の3つです。

まずは司法試験に必要な基本的な知識を身につけるために総合講義を受講しました。もちろん総合講義の段階で全てを暗記するようにはしたわけではなく、その内容を理解するこ

とに注力しました。

その次に重要問題習得講座を用いて実践的な問題の解き方を練習しました。この講座は、実際に出題されやすい重要な問題を扱っており、なんと言ってもその網羅性が長所だと考えます。ここまで幅広く問題をそろえている問題集はおそらく他にはありませんし、法科大学院合格にはこれで十分だと思います。

そしてそれと並行しながら論証集を用いた学習も続けました。論証集は、司法試験に必要な論証を網羅的にまとめた資料で、暗記に適した教材です。アガルートの論証集は、レイアウトや構成が他のものと比べても見やすいですし、書き込みなどもしやすいスペースがあります。そのため自分にとって必要な情報をスピーディーに把握しやすいという長所があります。

令和6年度

法科大学院入試合格

予備校を選ぶときはテキストの質を最重視した

H. I さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東北大学 (既修)、北海道大学 (既修)

受講していた講座

経済法 / 4講座パック、予備試験最短合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選択した理由はテキストの質です。講師の質や価格などももちろんどの予備校に通うかの指標ではありましたが予備試験を合格するにはとにかくテキストを使った問題演習や基礎的概念の理解が必要だと思っていたので、テキストの質を最重視していたのですが、アガルートのテキスト、中でも重要問題習得講座は合格者のSNSやブログなどでも高く評価されていて興味を持ちました。

そして実際にサンプルテキストと講座を受講したときに質が高いと感じてアガルートに決断しました。具体的には内容が簡潔でまとまっていることと映像講義との相性がいいことです。アガルートに通う前は基本書を使って学習をしていたのですがとにかく量が多く、どの論点も緩急なく書かれているものが多かったので特に初学の段階では理解があまりできていなかったのがアガルートのテキストをみてわかりやすいと感じました。また映像講義の説明と完全に内容が一致しているのでテキストでわからなかったところを映像で補うことがあったりその逆で映像では理解しきれなかったところをテキストを読むことで理解できたりと相乗効果があっていいなと感じました。

合格体験記

特別なことはしておらず、総合講義を受講して論文の「書き方」講座をやり、重要問題習得講座に取り組み、合格に至ることができました。重要問題習得講座は一度映像講義を受講した後は映像は見ず3〜4周は解きました。また論証集は音声で聞いたり、たまに自

分で読んだりと合わせると7～8周はしていると思います。実際、2回受けた法科大学院入学試験の前も各大学院の過去問などは一切やらずにひたすら重要問題習得講座と論証集を回すことだけやり、科目によっては総合講義のテキストを読み返しましたが、それ以外の特別な対策などは行いませんでした。特に北海道大学の法科大学院は各科目事例問題という形式が多そうなので予備試験の勉強をアガルトのテキストや授業を使っている人だとほとんど特別な対策をする必要はないと感じました。東北大学法科大学院は、憲法、会社法は一行問題が出されることが多いみたいなので総合講義のテキストを読み返して対策する必要がありますが、特に刑事系の科目は事例問題が出ることが多い感じだったので特別な対策はいらないなと感じました。

令和6年度

法科大学院入試合格

「たったそれだけの時間と教材で合格なんてすごい」

R. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、慶應義塾大学 (既修)

受講していた講座

国際私法 / 4講座パック、法科大学院入試過去問解説講座 / 慶應義塾大学

法科大学院入試過去問解説講座 / 東京大学、予備試験 口述試験対策講座、司法試験 論文過去問解析講座

予備試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

他の大手予備校に比べて講座の価格が安く抑えられていることが多かったからです (現在そこまで変わらないかもしれませんが)。また、オンライン予備校ということで、予備校に通わずに自分のペースで勉強したい自分にはとても合っていると感じました。教材等はカラフルで見やすいものが多く、よく工夫がされているなと感じました。また、さまざまな経歴を有する講師陣が結集しており、自分に合う講師を見つけることができると思います。公式YouTube等での情報発信も積極的で、日々情報をアップデートしながら学習することができました。また、合格者の中からの評判も良く、アガルートを利用しないで合格した人でも論証集、総合講義1問1答、重要問題習得講座だけは利用したという人が多かったと思います。アガルートの一番の強みはオンラインで充実した勉強環境を整えることができているところだと思います。腰を据えて勉強することは大事ですが、毎日塾に通って勉強みたいな生活が嫌だった自分はアガルートを選びました。

合格体験記

まずは自分の現在地点と合格目標との距離を把握し、一歩ずつ進んでいくように、前日より何か一つでも成長を感じられるように勉強しました。モチベーションの管理としては、勉強をルーティン化し、当たり前のように淡々と学習することを心がけました。勉強をやりたくないと感じる日は少なくなかったのですが、嫌になったり辞めたくなくなるようなこ

とはなく、充実した日々を過ごしていたと思います。それができた理由は、上のように日々自分の成長を感じることができ、合格に近づいている感覚を持つことができたからだと思います。また、手を広げすぎず基礎に忠実な勉強をすることを心がけました。他の合格者の方に言うと「たったそれだけの時間で、たったそれだけの教材を使って、これやあれの教材を使わずに合格したなんて凄い」等と言われることが多いですが、合格に必要なレベルは勉強を開始するときに想定しているほど高いとは感じませんでした。よって、あれこれ手を出すのではなく、自分が必要最小限であると感じる教材、講座をひたすらこなし、定着をさせることを重視しました。

令和6年度

法科大学院入試合格

使いやすい学習ツールが勉強のモチベーションに

H. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

中央大学 (既修／半額免除)、早稲田大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座、論文答案の「書き方」、法科大学院入試過去問解説講座 / 慶應義塾大学
法科大学院入試過去問解説講座 / 早稲田大学、法科大学院入試過去問解説講座 / 中央大学、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は大学2年の夏からアガルートの講座を受講し始めました。大学では1年後期から法律専門科目の授業が始まりましたが、大学で言われる通りに、指定された教科書の該当範囲を予習し、講義を聞き、もう一度教科書を読みなおすという学習をしても、理解に詰まるところや、理解できているのか不安なところが多くありました。大学の期末試験の不安もあったのですが、法曹を志望していたこともあり、このままではいけないと思って予備校講座の受講を検討し始めました。

予備校を決めるに当たっては、当初からアガルート一択というわけではなく複数の予備校を比較検討しました。アガルートは予備校比較のサイトでの評価が高く、比較的安価で講座を受講できるところが魅力的でした。特に決め手となったのは教材のよさです。資料請求したところ、フルカラーのテキストには他教材との関連性が分かりやすく記しており、オンラインの受講画面も見やすいデザインとなっており、使いやすい学習ツールは自分が勉強を続けるモチベーションになると思いました。

合格体験記

大学2年の間は、総合講義 300 を大学の授業と並行して進めることで基礎知識の理解に努めていました。総合講義の使い方としては、大学で履修しない科目や大学の講義だけでは理解が不安な科目については、総合講義に重点を置いた学習をし、大学の講義である程度理解できている科目については流し見にするというように科目に応じて受講方法を変え

ていました。

そして、3年から本格的にLS対策に取り組みました。3年の7月から期末試験勉強で忙しくなる見立てがあったので、4月から6月にかけて論文答案の「書き方」講座1周と、不安が残っていた訴訟法と行政法の総合講義の2周目を終わらせました。

期末試験が終わった8月下旬から重問に取り組みました。重問講座は1問ずつ緻密に取り組むよりも周回することを重視したいと考えていたことに加え、重問はかなりボリュームがあり仕上げるのにどのくらい時間が掛かるか分からなかったため、1周目は答案構成の作り方を学ぶことと、論点や論証を暗記することに注力して取り組みました。まだ大学の履修科目も残っていたので、大学の授業の予習復習などと並行して取り組み、4年の4月までに1周終えました。2周目は箇条書きで起案をし、論証部分は実際に論証を書いてみて正確に吐き出せるか確かめました。4年は大学での履修科目もほとんどなく、LSに向けた勉強に集中できたこともあり7月中に重問2周目を終わらせました。

重問と並行して、4年の6月からは志望校の過去問講座にも取り組みました。私は中央、慶應、早稲田を受験する予定だったので、過去問は6～7月にかけて中央大学と慶應大学、8月は早稲田大学に取り組みました。講座を通しては、問題を解くうえで重要な知識や、時間配分など実践でのポイントを学びました。過去問は全て時間を図りながら答案を作成し、復習の際は、もう同じ論点で間違えないよう、知識が不十分だった論点などをルーズリーフにまとめてファイリングしました。特に私大の場合は頻出の論点が重なっている部分があるので、徹底した過去問の演習は合格につながったと思います。

8～9月の入試直前期は過去問で起案のペースを忘れないようにしながら、重問でまだ自信がない問題を中心に知識をインプットしていきました。

令和6年度

法科大学院入試合格

そもそも予備校を利用することに猜疑的だったが……

K. Yさん (20代前半)

社会人

合格した法科大学院

京都大学 (既修)、大阪大学 (既修)、神戸大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートを選んだのは、値段が比較的安かったことや市販のアガルートの論証集を利用していたということもありますが、一番はオンラインの受講相談で丁寧に対応して頂いたことです。

そもそも私は司法試験に際して予備校を利用することに対しては猜疑的でした。しかし、前年に法科大学院受験に失敗し、再挑戦するためには予備校を利用することが不可欠と考えてアガルートを含む複数の予備校を比較検討しました。

他の予備校では法科大学院の入学試験に落ちたという一事をもって、アガルートで言うところのカリキュラムに相当する高額の講座を受講して基礎からやり直すことを半ば強制的に勧められました。それに対して、アガルートでは学習状況等を丁寧に聞いていただき、入学試験までの時間等も踏まえて最善と思われる講座のみの受講を勧めていただきました。

このことから、アガルートでは誠実に対応していただけたと感じました。

また、他の予備校ではテキストがファイリングされた形式のところもありますが、アガルートではテキストが製本された形式で頂けるというのも、決め手の一つでした。

合格体験記

私は所属していた京都大学の法科大学院の入学試験に落ちたため、それまで予備校を利用していなかったのですが、アガルートを利用し始めました。

院試に落ちたことから、自分が問題をやりこむ数が足りておらず、インプットも十分で

はないと感じました。そこで、重要問題習得講座を徹底的にやりこもうと決めました。次の入試まで1年を切っていて時間がなかったので、問題演習とインプットを同時に行おうと考えたためです。

具体的には、6月くらいまでかけて答案構成のみ行い、実際に論述はせずに答案を見て足りないところをインプットしながら1周、7月の予備試験短答式の勉強を経て、9月の予備試験論文式試験に向けて添削を利用しながら実際に論述してもう1周、11月の大学院入試本番に向けて更にもう1周する予定でした。

ところが、6月までに重問を1周させることが出来ず、更に予備試験短答式試験に落ちたため、論文式試験を受験する予定が無くなり大幅にスケジュールが狂いました。そこで、とにかく1周目を終わらせて一刻も早く2周目に入って論文式試験を受けるつもりで勉強することにしました。しかし、論文式試験が無いと院試まで時間が空くため、モチベーションを維持することが出来ませんでした。

結局、重問の1周目が終わったのは7月も終わるころでした。大阪大学ロースクールの試験が10月半ばにあるため、ここから論述しながら2周目をしていたのではそれに間に合わないと感じ2周目も答案構成に留めることにし、添削指導は京大ロー入試の直前にして頂くことにしました。

しかし、結局のところ怠惰な性格のため2周目を走り切ることはできませんでした。

10月に入り阪大ローの入学試験まで2週間を切ると、過去問を実際に論述して解きつつ重問の2周目を進めていきました。以降、神大ロー、京大ローの入試が2週間ごとにあったため、神大ローの入試に際しても同様に進めました。京大ローの過去問は既に前年に解いていたため、京大ローの過去問については答案構成に留め、代わりに重問の添削オプションを進めました。しかし、私の見通しが甘く、添削にかかる時間などを合わせると、2週間で添削の対象となる問題を完遂させることはできませんでした。

このような杜撰な計画の中で大学院に合格することができたのは、重問をこなしながら、知識のインプットをすることだけは怠らなかったためであると私は考えています。司法試験や大学院入試の問題が解けるようになるには、知識と文章を書く力の二つが必要になりますが、定着に時間がかかるのは前者だと思います。そのため、質問制度等を活用してインプットに時間をしっかりかけられたことが結果として合格に繋がりました。

ここまで読んでいただいた方なら自明かと思われそうですが、大事なことはスケジュールをしっかり立てること、そして、そのスケジュールを日々こなすことが合格のカギとなります。この体験記がどなたかの反面教師としてでも役に立てれば幸いです。

令和6年度

法科大学院入試合格

素早く論点を抽出して解答できるようになっていた

S. Hさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートを受講しようと思ったのは、①価格面、②定評の高さです。

①については、他の予備校さんと比較しても受講料が安いことは自明だと思います。私もアルバイトをして生活をする一般的な学生ですので、十数万円程度で教材を利用できることは有難いです。

私は司法試験の年度切り替えの安くなるタイミングで講座を利用させていただきましたので10%ほどの割引が受けられました。加えて、定期的にクーポンが発行されており、いつでも安く購入できます。また、②にもつながるのですが、安かろう悪かろうというわけではない、すなわち低価格なのに高品質でコスパがとても良いです。

②については、SNSやネット記事で多くの利用者がおり、おすすめしているのをよくみかけます。実際、今年度のロースクール入試でも多くの受験生がアガルートの教材を片手に勉強しており、その人気は明らかであると思われます。また、私の先輩もアガルートを用いて私と同様のロースクールに合格しており、その質の高さは本物であると考えます。

合格体験記

私が合格を勝ち取れたのは、①重要問題習得講座の周回、②過去問演習を通じたアウトプット、③各大学院個別の対策を欠かさなかったことだと思います。

①については、他年度の合格者の方もおっしゃっているようにひたすらにやりつづけることが肝要です。私は1～2周目をフル起案で、3周目以降は問題の所在、規範、あては

めを簡潔に書くという形で利用し、最終的には5周ほど7科目を回しました。それに加え、復習管理アプリを使い、復習日を決め、過去に解いた問題を理解しているか説明するように声に出していました。実際に5周目に至ったときには、問題に対峙した時に素早く論点を抽出できるようになり、解答できるようになっていました。また、この方法は、確実に重要な問題につき、アウトプットを通してインプットでき、3周目以降はある程度覚えているため時間の効率化を図ることができます。そしてこれを可能にしてくれたのは、網羅的に論点を押さえ、解答が分かりやすく、記憶に定着しやすい「重問」でなければできなかったと思います。

②について、過去問はよく傾向と対策を知るために利用すると言われ、実際に解くことを軽視する人がいます。確かに後述する③のようにそれはそれで重要であることは明かです。しかしながら、各大学の過去問は各科目のエキスパートにより作成された良問に間違いがないのですから、実際の時間で数年分、起案することをおすすめします。実際、今年度受験した大学院でも他大学で出題された過去問と似たような問題が出題されていたから、解かないよりは解くべきであると考えます。加えて、①の重問で培った力を、過去問演習を通じて発揮し、より記憶に定着することができると考えます。

③について、これは当たり前のことかもしれませんが、私と同様の失敗を防止するために挙げます。すなわち各大学院で出題される特殊形式の問題、阪大では刑訴の語句説明、京大では会社法以外の分野がこれにあたります。阪大刑訴は事例問題と語句説明問題が出題され、後者の方の配点が大きいという特徴があります。私は、事例問題は解けると高をくくっており、語句説明問題の対策をしていませんでした。しかし、入試では事例問題が解けないというイレギュラーが生じ、何とかひねり出した語句説明で最低限得点を稼いだと認識しております。結果的に合格をいただけたためよかったものの、受験後は後悔、不安が押し寄せ、受験生にとって良くないストレスがかかっていました。こうした経験から③を挙げました。

令和6年度

法科大学院入試合格

自分の弱点を見つけ、過去問を中心においた勉強を

K. Mさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

神戸大学 (既修)、大阪大学 (既修)、岡山大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学1年生の時に司法試験を目指し始めましたが、どのような勉強をすればよいのかわかりませんでした。しかし、同時期にロースクールに合格されていた上級生に「インプットができたなら、これをやるといい」と勧められたのが重要問題習得講座でした。それから、アガルートアカデミーのサイトにアクセスし合格体験記を読みました。体験記からは今までに合格されていった先輩方の声がこれでもかというほど詰まっており、学部1年生ながら当時の私のモチベーションを高めていただきました。それまでにいくつかの予備校を検討してみたりしましたが、価格や教材の質など懸念するところが多く、迷っていました。ただ、アガルートと出会ってからは、教材の質と価格のどれを見ても他の予備校より優れていると感じました。最初は、予備校を使うことなく独学で進めようとも思いましたが、これまでの受験生の指導を通して集積されたデータを生かした学習を支援していただけるのがアガルートであると考えました。そこで、私はアガルートアカデミーを選びました。

合格体験記

大学1年次の冬から参考書を使いインプットをしていました。それと並行して、時々事例問題を解いて合格者の方に添削していただいていたいました。それから2年次の4月には予備試験の短答式試験の勉強をしていました。短答式試験が終わった後は、論文式試験に対応するべく重要問題習得講座のテキストを周回しました。ここで、事例問題に必要な法的

な疑問点を見つけ出す能力を養うことができたと思います。私の場合、3年次での受験なのでとにかく時間に追われていました。予備試験を2年次から受験していましたが、令和6年の短答式試験が終わった直後には岡山大学の入試が迫っていました。そのため、とにかく過去問を解いて友人と一緒に添削しあっていました。今考えてみるともっと早く過去問を解くべきでした。早く過去問を解くことができれば、受験校の出題形式や傾向を把握できるので、自分に足りない知識などを補ってから本番に臨むことができるからです。やはり、過去問を見ればどのような対策が必要かが見えてくると思うので、できる限り早く（学習初期でも1回見ることをおすすめ）触れることが大事だと思います。9月以降1か月ごとに入試があったので、受験校の過去問を過去5年分くらい解いて、答案を見せ合うことを繰り返していました。その中で自分の弱点を見つけることができたので、あとは論証集を繰り返し読んでいました。このように過去問を中心においた勉強で合格することができました。

令和6年度

法科大学院入試合格

司法試験対策にも、長く使える講座

R. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

大阪大学 (未修)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

重問等の問題集が充実していて、講師の質が高かったです。また、予備校を併用している人が周りに多く、その中で確実に挙がってくる予備校がアガルートだったためよく目にしました。講義を好きな時に見返すことができるのは魅力的な点だといえます。高い合格実績もあり、信頼できる講義内容とデータがあると感じました。そして、価格帯としても学生には手を出しやすく、一つ一つの講義だけで考えて取ることもできるので、自分で勉強を進めたい人にはぴったりだと感じました。また、授業のスピードも倍速にすることができるので、自分に合わせられるのが特に良いポイントでした。全部の映像講義を聞かなくて良いというところも良かったです (できるだけ聞いた方がいいと思うが)。また、講義内容は法科大学院入試だけでなく、司法試験にも使えるような、高いレベルの内容だと感じたので、長く使うことのできる講座として重宝できました。

合格体験記

未修に対しては対策について情報が殆どないため、小論文を書いたことがないような人には方向性が分かりませんが、答案を書く際にはとにかく質問にはまっすぐ答えるということ、周りの感覚から途中答案にしてしまう方が散見されたので文字数は最低限書くこと、時間がないので斜め読みしながら大事な部分だけピックアップして読むことを意識しました。これまでの受験と同じ要領ではないかと思いますが、日本語と漢字は間違えない方がいいと思います。おそらく、国語が得意な方が多いと思われますので、平均点は毎年70点前後となっており、設問数も少ないので、落ち着いて確実に問いに答えることが必要となります。また普段から法律に関しなくても時事問題等に軽く触れておくことは必要

なのではないかと思いました。とはいえ、既修と比べると合格しやすいと感じるので、そこまで気を張らず、小論文が苦手な方については先輩に見てもらったり、教授に見てもらうのもいいかもしれません。

令和6年度

法科大学院入試合格

どこよりもわかりやすい映像講義と採点システム

岩崎 秀真さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)

受講していた講座

労働法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム、総合講義 100

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は大学2年の夏頃に司法試験を受けることに決めました。そのときに司法試験を目指す人の多くはいわゆる司法試験予備校に通っていることを知りました。もちろん予備校に通わず、独学や大学の学部での授業を中心に勉強し成功する方もたくさんいますが、自分の場合、サボり癖があったり、当時は周りに法曹志望の友人がいなかったという事情もあったため予備校の講座を受講することにしました。どこの予備校にしようか迷っていた時にアガルートアカデミーの広告をSNSで見かけたのが受講するに至ったきっかけでした。その後、アガルートアカデミーの無料の受講相談を受けて受講することを決めました。アガルートの講座の魅力はやはりどこよりもわかりやすい映像講義と採点システムだと思います。講義では司法試験合格を目指す上で必要な範囲の法的知識を楽しく学ぶことができます。そして、一通りインプットを始めた後は、それと同時に進んで答案を作成し採点をお願いできるので、早い段階で法的思考力や答案構成力を鍛えることができました。今ではアガルートさんを選択して本当に良かったと思っています。

合格体験記

私は、今年度の京都大学法科大学院入試を受験し、無事に合格することができました。受験前は、総合講義、論証集で忘れかけた知識を復習しながら、アガルートの重要問題習得講座 (いわゆる重問) を3周ほどして法科大学院合格のために必要なレベルの基礎的な知識・思考力を鍛えていました。法律の勉強は、その範囲や科目数の多さゆえに一度学習

ただけでは内容をすぐに忘れてしまうことがほとんどです。そこでこのように網羅的な学習を繰り返すことで少しでも穴を埋めていくことがベストだと思います。ロー入試では、確かに難しい問題に当たることもあります、(少なくとも司法試験と比べれば)問われる知識が浅いことが多いので、知識を深めるよりもこのように満遍なく勉強する方法が適していると思われます。

また、私は大学のゼミで知り合った友達と自主ゼミをしてその中でロー入試の過去問を大学終わりに集まって解いていました。ロー入試の過去問の解答は載っていないか、もしくは載っていても曖昧であることも多いです。友達と話し合うことで最低限書かなければならない論点や理想的な答案の書き方がわかったので、自主ゼミの存在は大変助かりました。彼らもアガルートの受講生でその共通点がきっかけで仲良くなることができたので、その意味でもアガルートを選んで良かったと思っています。

令和6年度

法科大学院入試合格

重要問題習得講座を完璧に仕上げれば受かると思う

北原 諒人さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、東北大学 (既修/全額免除)

受講していた講座

経済法 / 4 講座パック、予備試験 1 年合格カリキュラム、法科大学院入試過去問解説講座 / 東京大学

予備試験 口述試験対策講座、予備試験 論文式試験「予想論点攻略講座」

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

住んでいる地域が地方なのでまずオンラインで受講できるかを検討しました。次に知名度を見て、最後に値段という順に絞りをかけて残ったのがアガルートだったというのが理由です。知名度で絞りをかけた理由は、司法試験は相対評価なので仮に予備校で習っていない範囲の問題が出たとしてもどうせみんなできてないという割り切りができるからです。会場に行ってみて周囲の人が本番の日の空き時間とかで確認していた教材は、アガルートのものも多く見られました。今回私は点数的に合格ギリギリのラインだったと感じていますが、アガルートの知名度による相対評価のメリットで助かったのかなと正直思っています。学校では他校の人も多いですが、むしろその方が友達から他校の良いところだけ吸収して、メインはアガルートの教材で勉強できて良いのではないかなと思っています。論証も他の予備校と比べて厚く量があるので、この観点からもおすすめです。

合格体験記

まず一番行ったのは重要問題習得講座です。どれか一つしか教材を選ばないとするならこれ一択って感じです。この講座のすべての問題を A 評価がつくほど完璧に仕上げることができれば受かるのではないかと思います。私の受けた年では刑法と民訴はほぼほぼ同じ問題が出たと思います。過去問を見ても特に刑法は 100 パーセント対応できるので、アガルートを受講している人は刑事系科目で他の人と差をつけられると思います。私は刑

事系科目が一番点が取れなかったのですが、そこは重問のやり込みが浅かったと思ってくれればいいです。あとは過去問は絶対やっておいた方がいいです。東大はマス目があって普段予備試験を想定して勉強している人は、いつもより少ない量で答案をまとめなければいけないので、そういう訓練をする必要があると思います。よく答案のマス目を最悪無視して良いという情報がありますが、やめた方がいいと思います。私は刑事系科目が一番点数をとった自信があったのですが、一番点を取れなかったのはマス目を無視したからだと思っています。

令和6年度

法科大学院入試合格

1 コマあたりの時間が短めで良い

Y. Yさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)、九州大学 (既修)

受講していた講座

労働法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム、総合講義 300、予備試験論文式解答解説

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学入学してすぐに予備校選びを悩み、実績から他校とアガルートとで悩んだけれど、その金額からアガルートを選択した。最初は、体験授業を受けてみようと思って申し込みをしたところ、テキストの発送がかなり早く、その点もアガルートを選択するにあたって、決め手となった。予備試験や司法試験の予備校については、未だ情報がたくさんあるわけではなく、初学者にとっては勉強する前段階で、苦労すること多いかもしれないが、インターネットにおいて情報が充実していたアガルートはしっかり情報を知れてから、申し込みをできたので、不安も少なかった。アガルートでは、オンラインで受講できることも非常に良い点であると思う。他の予備校も確かに、オンライン受講は可能であるものの、1コマあたりの時間が非常に長いことが多く、折角オンラインでいつでもどこでも受講できるというわけではないという点が欠点である。しかし、アガルートでは1コマあたりの時間が短めでオンラインの強みを最大限活かせるのである。

合格体験記

最初は予備試験を目指していたので、とりあえず総合講義を回しつつ、重間に取り組んだ。1、2年生の間は、バイトに行ったり遊んだりしていて勉強する時間が沢山あったかと言われるとそうでもなかったけれど、アガルートの1年合格カリキュラムの通りに進めるというふうに、講座をペースメーカー的に利用していた。おおよっぱに基礎的な知識が身についてからは、予備試験の過去問を解きつつ、知識のブラッシュアップに努めた。3年生になってからロースクール入試を意識するようになり、基本的な方針は変えず、ロースクール入試過去問を入試の直前期にざっと解くことで形式に慣れるという作業を行った。

ロースクール入試では、憲法の統治の分野が出題されることもしばしばあり、一から基本書を読むことなく、アガルトの講座だけで対応できたのは、非常にありがたかった。あまり時間をかけられる分野ではなかったので、効率的に勉強できたのは合格につながったと思う。

令和6年度

法科大学院入試合格

GPAが低くても諦めず、全額免除の特待生で合格

志田 直実さん (30 代前半)

社会人

合格した法科大学院

中央大学 (既修／全額免除)

受講していた講座

労働法 / 司法論文過去問解析講座、論文答案の「書き方」、司法試験 論文過去問解析講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

ジモティー経由で知り合った予備試験合格を目指す勉強仲間と自主ゼミを組んでいたのですが、そのうちの一人がアガルートの重要問題習得講座のテキストを使用していました。

アガルートの教材は、それまで私が使用していた他社オンライン予備校の教材に比べて、論理の飛躍がなく、加点要素になる部分も詳しく解説されていて、論点の網羅という点でも申し分ありませんでした。

論文のお作法や基本ルール（例：刑法の客観的構成要件→主観的構成要件→違法性阻却事由→責任阻却事由）などを学ばないまま、予備過去問の起案を始めてしまったため、いくら問題をこなしても文章のまとまりや論理的なつながりが欠けたままで、何ら成長を感じられずにいました。そこでアガルートの論文の「書き方」講座（選択科目と行政法を除く6科目）を購入しました。

教材の質は上記の通りすでに知っていたので他社と迷うことはありませんでした。もっとも本来であれば当講座はもっと早い段階で受けておくべきで、私が今から受講するのは遅すぎるのではないかともしましたが、知識が散乱している今こそ基礎に立ち返ることが大事と思い、購入に至りました。実際、各科目のインプットを終え、H23～R2の予備短答・論文の過去問を1～2回まわした段階の私にとって、当講座の設問レベルはぴったりでした。

当講座を50%受けたぐらいの段階でも、答案構成能力・文章作成能力が自分でも分かるぐらい飛躍的に上がりました。問題を読んだからの思考の整理方法・頭の中身をどこま

で答案に書くべきか・原則／例外／再例外の順序など、アウトプットの方法を体系的に学べたからだと思います。

そして当講座を一巡した段階（復習なし）で法科大学院を受験し、全額免除の特待生で合格することができました。私の学部GPAは1.85/4.00という惨憺たる成績で、その他国家資格やTOEICなどの参考資料も添付せずに、院試成績一本勝負というなかなか破天荒なチャレンジでしたが、自分でも期せずして合格を掴み取ることができたので、GPAが低くても諦めずにチャレンジすることが大事だと思います。

合格体験記

大学院の受験日まであまり日がなかったので、1日最低3問解くことを目標に、ひたすら問題演習→解説講座を聞く→分からない部分の確認のサイクルを進めました。科目や問題の難易度にもよりますが、1問45分～90分の所要時間でした。

分からない部分は後回しにせずに、基本書を横に置いて、「基本書の索引→分からない箇所のキーワード→関連部分を一通り読む」という流れで、自分の中で論理飛躍がないように整理をしていました。基本書は文章で書かれているので「理由→結論」の順序で書かれていることが多いのですが、本番時の規範再現および記憶としての定着を重視した場合、「結論→理由」の順序で整理した方が、個人的には頭の中にスッと入ってきました。

上記のサイクルを一巡した後、受験日の2週間前から各科目のオリジナル規範集を総まくりで復習しました。ジムのトレッドミルで60分間歩いたり走ったりしながらiPadを前部分に置いて、「しっかり憶える」というマインドではなく、小説など「文字を読む」というマインドで画面をスクロールしていました。記憶系は、限られた時間で、じっとして覚えるよりも体を動かしながらの方が、集中力も定着率も良いように思います。

規範集は他社で購入した超最低限レベルの記載にとどまった薄いものしか持っておらず、新しく購入するか迷ったのですが、他人の作った論理順序・言い回し・言葉選びよりも、自分の納得のいく論理順序・言い回し・言葉選びの方が理解しやすく記憶しやすいと思ったので（行政法の原告適格など判例独特の文言をそのまま再現すべき場合は除く）、当講座の問題を解くたびにちまちま作っていました。これについては悪手かどうか分かりかねます。

令和6年度

法科大学院入試合格

繰り返すことで規範が自然と身につくようになっていく

藤本 耕平さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、慶應義塾大学 (既修)、中央大学 (既修／全額免除)

受講していた講座

経済法 / 予備過去問解析講座、経済法 / 論証集の「使い方」、重要問題習得講座、法律実務基礎科目対策講座
論文基礎力養成カリキュラム、予備試験論文式試験「予想論点攻略講座」、予備試験 口述試験対策講座
判例百選スピード攻略講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

重要問題習得講座、総合講義 300、論証集の「使い方」講座といったアガルートアカデミーが提供している講座が魅力的であった点及び他の予備校に比べて受講料が低かったことが理由です。アガルートアカデミーの講座は基本的には総合講義 300、重要問題習得講座、論証集の「使い方」講座の受講によって受験に必要な知識の習得を図ることが出来ます。同様の講座を他の予備校で受講しようとするれば3倍から4倍程度の費用がかかってしまうため、アガルートアカデミーは非常に受講しやすい価格でした。また、テキストはフルカラーであり、より見やすく、より取り組みやすいテキストになっていました。総合講義 300 のテキストは図が多用され、行政法の判例、民法の債権分野など理解するのが少し大変な分野においての理解の一助になっていました。総合講義 300 に取り組んだ後は重要問題習得講座、論証集の「使い方」講座を何度も繰り返すことにより法科大学院入試合格のために必要な知識を習得することが出来るため、非常に有用な講座でした。

合格体験記

私が法科大学院に合格できた一番大きな理由は、重要問題習得講座及び論証集に繰り返し取り組んだことにあって考えています。私は重要問題習得講座を①規範と問題文のリンク、及び②当てはめのやり方を理解するために取り組み、論証集を③規範の暗記のために取り組んでいました。つまり、重要問題習得講座に取り組むことにより、どのような事案

においてどのような論点が問題となり、どのような規範を立てることが要求され、どのような当てはめをすることが必要なのかを理解するために使用していました。そして、その規範の暗記のために論証集を繰り返し読み込みました。ここで、アガルートアカデミーの講座が優れている点は、重要問題習得講座と論証集のリンクが強い点であると思います。他社の講座では論証集に書いていることと、論文講座のテキストに書いていることが違うことがあります。アガルートアカデミーには一切そのようなことはありません。そのため、重要問題習得講座と論証集を繰り返すことで規範が自然と身につくようになっています。

この段階まで来たらあとは過去問に繰り返し取り組むことで、合格点を取得することが出来ます。

令和6年度

法科大学院入試合格

網羅性が高くその割に問題数が多い

H. Tさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

中央大学 (既修／全額免除)

受講していた講座

予備試験最短合格カリキュラム、労働法 / 4講座パック、短答式試験「重要トピック攻略講座」

予備試験 口述試験対策講座、予備試験 論文式試験「予想論点攻略講座」、予備試験論文式解答解説

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

第一に、先生の評判がよかったからです。特にもともと論証集を使っていて、比較的すっきりしていていいと思っていたので、公法系の論証集も欲しいと思い、せっかくならフルカリキュラムで申し込もうと思いました。

第二に、上記の理由にくわえて、フルカリキュラムで (当時にはなるのですが)、安価だったからです。他の予備校のフルカリキュラムに比べると半額くらいでリーズナブルだったのも決め手のひとつになりました。

第三として、重問 (重要問題習得講座) の質がいいと先輩にはなしをきいたからです。特に、司法試験の学習では、基礎レベルの問題の習得がかなり重要となると先輩からアドバイスをいただいていた。その一方で、基礎レベルの問題の量が多くなれば多くなるほど負担が増えるし、反対に少なくなれば少なくなるほど網羅性がなくなってしまい試験に対応できなくなってしまうということがありどのような参考書を使うか悩んでいました。しかし、重問は網羅性が高くその割に問題数が多いので、そこも決め手になりました。

合格体験記

まずは、総合講義を早めに1周しました。とにかく早くやることが重要だと思います。そして、それと同時に演習を始めることが大切だったと思います。演習 (重問) の1周目は初見の問題を解くように比較的時間をかけて丁寧に行いました。その上で重問の2周目以降は、問題のみで、脳内で答案構成を行い、それを答案構成例のところと照らし合わせる形で合計7周ほど行いました。一方で統治や手形小切手などあまり出ない分野は3周に

1 回くらいしかやっておらず、出題頻度に応じてメリハリをつけることが大事だと思います。

また、重問4 周目あたりから、予備試験の過去問に取りかかりました。今のロー入試は予備試験の傾向や出題実績を参考に作られていることが多いのと、かなり難化傾向にあることから、予備試験レベルの問題が最適な演習教材になると考えたからです。予備試験では、必ず初見でフル起案を行い、その後解説講座を見て、自己添削を行いました。

仕上げにローの過去問を起案しました。

令和6年度

法科大学院入試合格

単品で他の法科大学院の講座も購入できる

尾副 凜生さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

一橋大学 (既修)、早稲田大学 (既修)、東北大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試専願カリキュラム / 関東圏

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学生という身分であるため金銭的に比較的安く、合格実績、口コミがしっかりしていることからアガルートの受講面談に応募しました。先輩からもアガルートは良いと聞いていたので受講を決めました。YouTubeで法科大学院に合格した方のインタビューや講師の方の質問ライブも参照しました。

他の予備校は法科大学院の過去問がほぼなく、あっても3年でしたがアガルートは法科大学院バックがあり、法科大学院の過去問が5年分ついており、単品で他の法科大学院も購入できるため魅力的に感じました。

起案をする以上、添削してもらうことも必要だと感じ、重問も各科目一定回数の添削をしてもらえ、予備試験答練もついており、こちらも添削サービスがあることからアガルートにしようと決めました。

合格体験記

まずは総合講義を爆速で回して各科目の外観を掴みました。

その後、重問に取り組みました。いきなり書けるわけがないのでまずは、通読しました。ここでは法律論文の書き方や作法を何となく掴みました。3周目以降は、条文も番号だけでもいいので少しずつ書き出して見るようにしました。分からないところは適宜総合講義を見返していました。

同時に対応の論証も進め、あてはめの考慮事項等や理由付けが長すぎる部分は端折るな

どして論証を一元化教材としました。

その後は重問を 20 周ほど行い、論証は毎日 2 科目ずつ理解を伴った暗記になるように努めました。

論証集は最終的には目次を見れば問題になる条文、文言、趣旨、理由、あてはめの考慮要素まで想起できるように反復しました。何周したかは正直数えられません。

過去問解説講座に講師の方の答案と解説講義があるので徹底して過去問に取り組みました。特に慶應、一橋は何度も取り組みました。

令和6年度

法科大学院入試合格

ほぼ初学者の知識量から合格へ

T. Mさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

名古屋大学 (既修)

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、法科大学院入試過去問解説講座 / 名古屋大学 (一次)、重要問題習得講座
知的財産法 / 3講座パック、耳で覚える重要項目 300・1問1答

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだ理由は、ロースクール過去問の解説を受けられるのがアガルートアカデミーだけであったからである。ロースクールのホームページには過去問が掲載されている。だが、出題趣旨を読んでも、どのような対策を講じるべきか、また対策を講じたとしてもその方針が適しているかどうかは分からなかった。そのため、その指針を得るために過去問対策の講義をお守りとして受けておくことにした。そして、その過去問対策の講義を受けられるのがアガルートアカデミーであったということである。

また、アガルートアカデミーは、重要問題習得講座等でも有名であり、そのネームバリューがある以上、一定の信頼は担保されているものだと考えた。特に中堅ロースクールの対策においては、SNS上でその分析が深くなされていないと考える。そこで、一定の信頼が担保されているアガルートアカデミーの分析を見ておけば、他受験者に分析において劣ることはないと考えた。

合格体験記

9月くらいに過去問解説の講義を受講した。その目的は、過去問解説を通して、①どのレベルの問題が出題され、②どのレベルの答案が望まれているかを大まかに理解することにあった (また、③情報戦で劣ることが無いようにするお守りの目的もあった)。

私はまず、過去問題をざっと見て、簡単に答案構成をし、解説を見る。という流れを5年分繰り返した。これで、各科目の特色を把握し、また、高いレベルは求められていないことを把握した。解説講義では、蛍光ペンで色分けされていたので、これに応じて塗り絵

をした。この作業の評価は分かれるところであるとは思いますが、問題量も少ないし、答案の分量を把握するために役立ちました。先生の解説を聞き、また、問題文の特性を分析し、それをワードファイルにまとめた。そして、分析に基づき、自分は何をしたらよいかを書きだした。2 か月くらいしか猶予がなく、またその段階でほぼ初学者の知識量だったので、まとめた内容をもとに最低限を書けるように論文の勉強をした。これで合格を勝ち取った。

令和6年度

法科大学院入試合格

初期は市販の基本書や参考書で学んでいたが

椎名 洸太さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)

受講していた講座

経済法 / 4講座パック、経済法 / 重要問題習得講座、予備試験1年合格カリキュラム マネージメントオプション
法科大学院入試過去問解析講座 / 慶應義塾大学、法科大学院入試過去問解析講座 / 東京大学、総合講義 100
総合講義 300、短答式試験「重要トピック攻略講座」、予備試験 論文式試験「予想論点攻略講座」
予備試験論文式解答解説、刑法事例演習教材解析講座、古江頼隆 事例演習刑事訴訟法 解析講座
予備試験再現答案分析講座、採点実感から読み解く合格答案の「型」 習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は法学を学ぶ初期は市販の基本書や参考書で学んでいましたが、触れる科目数が増えるうちに基本書の選定が大変であったり、周りの友人が積極的に予備校等の講座を利用しているのを見て、予備校の講座を利用して効率的に学びたいと考えようになりました。その中で最初に私がアガルートを選んだきっかけは、大学1年生の時に同じ大学の友人の勧めで民法の総合講義の体験講座を受講したことでした。講師の方々のわかりやすく、かつ、効率の良い講義からぜひアガルートで学びたいと考えました。また、費用面でも他の予備校よりも料金体系が明瞭でかつリーズナブルであった点も好印象でした。その後は総合講義や重要問題習得講座を受講し、基礎を固めました。また、ロースクール対策に際しても他の予備校が多数講座を提供していますが、今までの講義や個別指導で直接教わったことのある講師の方の書き下ろしによる講座であった点もあり継続してアガルートにて対策講座を受講することにしました。

合格体験記

私自身としては基本的にはあまり変わった勉強法ではなく、ある意味普通の勉強を数年間続けていたと考えています。まず、アガルートでは他の予備校のように先に全科目イン

ブットを行い、その後アウトブットに入るという運用と違い、1科目ごとにインブットとアウトブットを行っていました。そのため、まず、民事系から総合講義と重要問題習得講座を中心に基本的な知識や論点を把握した上で、刑事系、公法系へと進んでいき、特に重要問題習得講座を何周かする中で必要な知識を固めていきました。また、自分の自信のない科目や分野については大学教授の方が執筆した演習書を活用してより知識を盤石にするように努めました。この時点で、どこのロースクールかを問わず、基本的にすべてのロースクール入試に対応できるような知識を得られると思います。その上で、それぞれのロースクールの出題形式にあった解き方や求められる知識を確認するためにアガルートの法科大学院入試過去問解説講座を利用して各校の特徴を押さえつつ対策を行いました。

令和6年度

法科大学院入試合格

どのように学習すれば良いのかわからない状況から

勝又 徳也さん (20代前半)

大学既卒

合格した法科大学院

東京大学 (未修)

受講していた講座

労働法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

友人がアガルートアカデミーの講座を利用して、すすめられたことで受講を決めました。

私が所属していた学類（一般的には学科に相当します）では、周囲に司法試験を目指す人がほとんどおらず、司法試験に向けてどのように学習していけば良いのか分かりませんでした。そのような状況で、友人からアガルートの講座をすすめられました。

当時、複数の予備校の講座を比較していましたが、友人曰く「価格とクオリティがしっかりと両立されているから、アガルートがおすすめだ」とのことで、アガルートの受講を決めました。スタッフの方との面談を経て予備試験に向けた講座を受講することにしました。

私はロースクールに進学したいと考えていたため、予備向けの講座を勧められた際は少し驚きました。しかしスタッフの方に、「ゴールをロー入試に設定するよりも、予備に設定して勉強を進めるほうが良い（そのほうが司法試験を目指す上で望ましい）」とのアドバイスを頂いた為、予備講座の受講を決めました。

合格体験記

まずは総合講義で知識のインプットから始まり、論文の「書き方」講座、重要問題習得講座で実践&アウトプットという流れで受講しました。

大学4年の時に東京大学法科大学院の既習コースを受験しましたが、受講を始めた時期

が遅かったのもあり、不合格に終わりました。

翌年は他の私立の結果が芳しくなかったことから、同大学院の未修コースを受験することに決め、無事合格することができました。

未修コースの入試は、小論文の形式で行われます。法曹になる為の適性が問われる試験である為、直接法律の知識が問われるわけではないものの法律の知識が完全に不要と言うわけではなく、法律の考え方を踏まえて解答した方が点数が伸びると思われます（試験当日の解答では、採点者に法律の知識を踏まえていることをアピールするように意識していました）。そのため、試験直前までは総合講義のテキストを読み直しながら、法律特有の考え方（適正手続や私的自治の原則など）を復習していました。

令和6年度

法科大学院入試合格

わかりやすい答案例と要点に絞った解説

K. F さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東北大学 (既修)

受講していた講座

重要問題習得講座、法科大学院入試過去問解説講座 / 一橋大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

価格の安さはさることながら、テキストの使いやすさがとても魅力的で、受講を決めました。判例通説に立った、わかりやすい答案例と、コンパクトに要点に絞った解説講義によって挫折することなく周回することができました。法科大学院レベルであれば重問でカバーできていることを確信し、教材を絞り込んで対策することができました。1問につき1つ、解説講義を見る形になるので、短い勉強時間でも、効率的に学習に取り組めたことがとても自分に合っていると感じました。問題数は他予備校に比べて多いですが、その網羅性がとても自信につながりました。他に判例集を読んだり、基本書を読んだりすることも大切かもしれませんが、重要なポイントは解説部分に含まれているため、そういった労力を割くこともなく、効率化が図られている点も、この講座の魅力の一つでした。重問を終えた今、来年の予備試験等にに向けては、過去問演習に自信を持って取り組めているので、このまま進んでいきたいと思います！

合格体験記

私は、総合講義の授業をとっていなかったのですが、重要問題習得講座のみに絞って対策をしました。わからなくなったところは基本書に立ち返り、問題演習を重要問題習得講座に絞り込んで対策できたことが、限られた時間の中での学習に向いていました。さらにアガルートの論証は、網羅性が高く、判例通説に従った記載になっており、信頼を置いて覚えることができました。比較的自分は心配性なので、網羅性が高いテキストはそんな自分にとってとても自信になりました。法科大学院受験期はある程度問題演習の周回も進んできたこともあり、あまり不安にならず臨むことができたのはこの講座のおかげだと思っています。

ます。速く問題を処理することが求められる法科大学院入試においては、基本的な問題を確実に速く解く能力が不可欠だと感じました。網羅性のある問題集を周回したことで、法科大学院入試の合格につながったと感じました。予備試験、司法試験対策では、重要問題習得講座で培った、能力をもとに、演習を繰り返したいと思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

受験を決めた時点で試験まで2か月を切っていた

Y. Tさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

一橋大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 一橋大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートを選んだ理由は、短期間で効率よく学習を進められる講座内容と学習環境の利便性の高さです。

合格校の受験を決めた時点で試験まで2か月を切っており、過去間に一度も触れたことがなく、問題傾向も把握していない状況でした。そのため、限られた時間内で効率的に過去問演習ができる講座を探していました。

アガルートの講座は各校の過去問に特化しており、短期間で答案作成力を高めるカリキュラムが整っていました。

また、講義で使用する参考答案は非常に質が高く、それを活用することで、自分で一から答案を作成し学習する手間を省くことができ、効率的に出題論点やあてはめを学びました。さらに、講義資料がすべてデータ形式で、購入後すぐにダウンロードして学習を始める点も大きな魅力でした。

加えて、アガルートの入門講座を受講している友人から「ロー入試にも強い」と勧められたことや、価格も他の講座に比べて手頃だった点も決め手の一つでした。

合格体験記

9月初めまでは予備試験の論文試験に向けた学習をしていたため、受験に必要な科目について一通り勉強していました。しかし、論文試験後に燃え尽きてしまい、約1か月間はほとんど法律に触れられない状態が続きました。本試験までの時間が限られている中、学

習を再開するためにまず取り組んだのが、アガルートのロー入試講座の活用でした。講座に付属していた過去問の参考答案を用いて、出題傾向や求められる内容を把握することを最優先にしました。具体的には、参考答案から重要な論点や解答の構成を抽出してメモを作成し、それを通じて逆答案構成のような作業を行いました。

時間が限られていたため、新しい教材を追加することなく、論文試験で使用していた事例問題集を繰り返し演習しつつ、参考答案を徹底的に分析しました。この学習法は網羅性には欠けるかもしれませんが、短期間で得点力を最大化するには有効だったと感じています。特に、参考答案を繰り返し読むことで、答案作成に必要な表現や構成を体得することができました。時間がない方には、最低限参考答案を確認するだけでも十分効果があると思います。

令和6年度

法科大学院入試合格

結果としては大満足、選んでよかった

Y. F さん (20 代後半)

大学院生

合格した法科大学院

京都大学 (既修)、早稲田大学 (既修)

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、法科大学院入試過去問解説講座 / 京都大学

法科大学院入試過去問解説講座 / 早稲田大学、労働法 / 3 講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを選ぶに当たっては、価格を重視しました。特に、コロナ禍を経て、ほとんどの予備校が対面授業を廃止していたことから、オンライン授業に抵抗がなかったこともあります。また、講座がパックになっており、それを購入すれば合格に必要な講座がすべてついてくるのも魅力的でした。アガルートアカデミーという実績ある予備校なので、教材も信用して用いることができると思ったことも理由としては大きいです。

他には、周囲にアガルートアカデミーの講座を利用していた友人、先輩、知人が多くいたこともあげられます。どの予備校の講座を購入するか悩んでいた時に、周囲の人々が口を揃えてアガルートを推薦してきたことで、特に迷うことなくアガルートを選択することができました。結果的に合格を勝ち取ることができたので、周りの声はありがたかったです。アガルートアカデミーを選んだ理由は上記のとおりですが、結果としては大満足しています。アガルートアカデミーを選んでよかったです。

合格体験記

重要問題習得講座をとにかくこなしました。また、電車などでは論証集を徹底的に暗記しました。法科大学院の過去問の中で類題が出た際には、論証集に情報を付け加えたり、参照頁を書き込んだりすることで、情報を一元化していきました。それに加えて、京都大学法科大学院過去問解説講座も合格にあたっては有用であったと考えています。過去問をこなすことで、どのような出題やパターンがあるのかを知ることができますし、講師書き下ろしの解答例がついていることで必要な内容を知ることができ、迷うことなく学習する

ことができました。とくに講師の先生はその問題の解説にとどまることなく、京都大学法科大学院を受験するに当たって求められている知識や、どのように問題进行处理していくべきか、今年を受験にあたってはどのような対策をすればよいかといった受験生が求めていることについても詳細に説明をされており、大変有用でした。この講座を受講することで、ぐっと合格に近づくこと間違いなしです。

令和6年度

法科大学院入試合格

当初は試験を意識した法律学習をしたことがなかった

H. F さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

慶應義塾大学 (既修)、早稲田大学 (既修)

受講していた講座

労働法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーはオンライン形式の予備校なので、時間や場所を問わず講義を視聴することができ、便利だったから。また、総合講義 300 が他の予備校より講義時間がコンパクトであり魅力だったこと、総合講義 300 のテキストに条文、論点についての規範や理由付けがコンパクトにまとめられていること、重要問題習得講座には解説・解答例に加えて答案構成まで掲載されており、網羅性が極めて高く周囲の人やインターネット上での評判がよかったこと、論証集が実践的で論点によっては当てはめまで記載されており答案を書きやすいと思ったこと、論証集の「使い方」講座の音声聞くことで、論証集の内容の暗記がしやすくなったと考えたこと、テキストがフルカラーなものもあり見やすかったこと、総合講義 300・重要問題習得講座・論証集が相互にリンクしており、対応するページも記載されているため、他の教材の該当ページをすぐに参照できたことが挙げられる。

合格体験記

まず、総合講義 300 を受講した。民事系から受講し始め、刑事系、公法系と受講した。総合講義 300 を受講するときには試験を意識した法律学習をしたことがなかったため、とりあえずひと通り聞き終えることを意識しながら受講を進め、暗記等は行わなかった。次に、重要問題習得講座を受講した。重要問題習得講座も総合講義 300 と同様に、最初はずべての問題の解説・答案構成・問題例を読み終えることを意識した。2 周目には条文摘示・問題提起・規範定立・理由付け・当てはめの書き方を意識しながら読み進めた。その後、

論証集の暗記を行った。論証集の暗記の際には、問題提起・規範定立・理由付け・（当てはめの記載されている論点に関しては）当てはめを区別して暗記することを意識した。論証集の暗記はAランクの論点からはじめ、余裕がある科目は他の論点の暗記も行った。最後に、重要問題習得講座を使い、論証集に掲載されていない条文・論点・当てはめの知識を習得した。以上のアガルトアカデミー講座を受講した後、過去問学習を行った。

令和6年度

法科大学院入試合格

大学卒業から20年以上経った会社員だった

伊藤 陽子さん (40代前半)

社会人

合格した法科大学院

慶應義塾大学（既修）、中央大学（既修）、明治大学（既修）

受講していた講座

重要問題習得講座、総合講義 300、論証集の「使い方」、予備試験最短合格カリキュラム、労働法 / 4 講座パック
法科大学院入試過去問解説講座 / 慶應義塾大学、法科大学院入試過去問解説講座 / 中央大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートや他予備校講座のHP、口コミ等を見て比較検討した中で、短期間でしっかりとエッセンスを身に着けることができそうなところが、自身の性格や目指す学習ペースに合いそうだと感じたためです。

私は、2023 年 12 月に 2025 年 4 月入学のための法科大学院受験を決め、働いていた会社に年度末での退職意向を伝え、業務と並行して勉強を始めました。

法学部卒とはいえ大学を卒業して 20 年以上経っており、法律や法解釈も大きく変わってほぼ学び直しになる私にとって、自分のペースで短期間集中して一定のレベルに到達するためには、途中で迷うことなくエッセンスを習得しきることが大切だと考えていました。

その点、アガルートの講座は十分な情報量をカバーしながらも、受験上必須となるポイントにフォーカスされてまとめられている印象があり、口コミ等には初学者にはハードルが高いというような書き込みもありましたが、逆にせっかちな私には解説が細かくないくらいの内容・ペースがちょうどよいのではないかと直感的に思い、アガルートの講座で勉強することに決めました。

合格体験記

勉強期間が正味半年くらいしかなかったことと、卒業からしばらく経って論述式試験からも遠ざかっていたため、第一志望としていた慶應義塾大学の受験（8 月 31 日）にピークを持っていくための学習プラン、受験順等を検討し、いったん止まってわからない部分

は飛ばしながら、とにかく悩むよりも手を動かす、繰り返して体と頭に染み込ませることを重視しました。

2023年12月～2024年3月

退職するまでの間、業務外の2～3時間/日を使い、まずは受験科目である6教科の総合講義を聞き切ることに集中しました。

並行して、移動中等の空き時間には論証集の「使い方」を聴き、法律用語や解説内容に慣れて、講義を聴くスピードを上げて理解できるようにしていきました。

2024年4月～7月

総合講義を聞き終えた科目から順次、論文の「書き方」をさっと聴講し、重要問題習得講座の問題を繰り返し解くことと、空き時間は引き続き論証集で論点をリマインドすることで理解を深めました。

2024年8月

7月末頃から、中央大学と慶應義塾大学の過去問解説講座を聴講し、各校向けの対策で知識を固めながら、本番の受験となりました。

結果的に8月に3校受験することになり、受験科目がひとつ少ない明治大学でまず論述試験に慣れるとともにその時点での自身の知識・理解度を確認、中央大学の試験でハイペースの答案作成にチャレンジして慶應と同じ時間配分を経験、最後にそれまでの反省点を踏まえて慶應義塾大学の試験を受けることができ、各校とも当日の出来栄はあまり自信の持てないものでしたが、振り返ると自分なりに知識習得と試験対策の組み方はまずまずだったかなと思っています。

令和6年度

法科大学院入試合格

同じ講座を受講している友人と監視・質問しあえた

茂野 瑠夏さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

東北大学 (既修／全額免除)

受講していた講座

重要問題習得講座

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

自分が所属する学部では、アガルートを使っている人が多く、友人にもすすめられたことが主な理由である。他の予備校とも比較したが、司法試験・予備試験において、アガルートのシェア数が圧倒的であり、口コミも多く信頼できると考えた。他の予備校の講座は、セットでとるべきものが多く、基本7法科目がコンパクトにまとめられている講座が少なかった。自分は、法学部3年の時点において、法律文書を書くという練習が全くできていなかったため、初学者ではないが、一から知識の解説をするような講座は、求めていなかったため、記述練習の手始めとして、論じ方を網羅的に紹介してくれている重要問題習得講座が魅力的だった。また、アガルートの講座は、費用の面においても他の予備校と比べて手を出しやすかった。これは事後的な理由になってしまうが、周りで同じ講座をとっている友人が多く、進度についてお互いに監視しあいながら講座を進められたこと、分からないところがある場合に、質問できるところもよかった。

合格体験記

自分は、法学部3年から本格的に法科大学院入試の対策を始めたが、3年次においては、大学の授業に追われ、記述の対策については、なかなか時間をとってやることができなかった。基本書は、ほとんど一読し、普段の大学の授業の進度に合わせて自分なりに紙にまとめるという学習を行っていた。基本的な法律の知識は、基本書と大学の授業で、理論的な部分からしっかり固められていたため、4年生になってから記述の対策にはスムーズに入

ることができた。さらに、週3日、大学の図書館で、同じく法曹を志す仲間と、予備試験・司法試験・法科大学院入試の過去問を使い、答案を書く練習を行った。書いた答案をお互いに見せ合うことで、緊張感が生まれ、友人に対して、説明することでより理解が深まった。また、書いた答案は、大学の教授にも見ていただき、修正し、やりっぱなしにならないように気を付けた。後悔している点としては、早くから記述の対策をしなかったことである。

令和6年度

法科大学院入試合格

論証集を活用して高いGPAを維持

K. Tさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

神戸大学 (既修)、同志社大学 (既修/半額免除)、立命館大学 (既修/全額免除)

受講していた講座

倒産法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

法科大学院ルートでの司法試験合格を目標としていましたが、法律学習を行う中心軸が必要であると考え、予備試験合格・司法試験合格を掲げる予備校を利用することを考えました。予備校選びの際に特に重視したことは、金額・合格率です。合格率が抜き出て高いと評判の予備校は、金額がかなり高く、手が出せなかったため、候補からすぐに外れました。それに比べて、アガルートは、合格率が高いという実績を有する予備校であるとともに、金額も極端に高いというわけではありませんでした。私は、割引セールが行われていた講座を購入したため、自分の貯金から出せる程度の額を払うことで、受講を開始することができました。また、アガルートと合格率・金額が同程度の予備校と比較してアガルートを選んだ決め手は、資料請求の資料の発送が早かったことと、資料請求後のメールやSMSでの勧誘がしつこくなかったことでした。受講料という大金を払うにあたって、それだけの大金を払うことができると考えるだけの信用を、アガルートの対応から感じました。

合格体験記

私が勉強を進めるにあたって、主に利用していたのは、総合講義と論証集です。

総合講義は、講義動画を視聴し、先生が口頭で説明されていたことの聞き洩らしがないように、メモを取ることを頑張っていました。そして、受験勉強に際して自作のまとめ教材を作成したのですが、総合講義テキストと過去に自分が書いたメモをかなり活用しながら、まとめ教材を作成しました。自分が基本書を読むだけでは拾い切れない知識が総合講義テキストには記載されていたため、知識の取りこぼしがないように、学習ができたと考えています。

私は、本命校は特別入試の5年一貫型で合格をいただいたのですが、合格に際して、学部時代のGPAもかなり重視されたのではないかと考えています。学部の定期試験対策の段階から、論証集をかなり活用しており、Aランクの論証をひたすら覚えることによって、学部の定期試験でよい点数を取ることが出来ていました。学部で良い成績をとることによってある程度の高さのGPAを維持することができ、結果として、合格に繋がったのではないかと考えています。

令和6年度

法科大学院入試合格

勉強への着手が遅かった私にとって非常に有益

S. Kさん (20代後半)

社会人

合格した法科大学院

神戸大学 (既修)、同志社大学 (既修/半額免除)、立命館大学 (既修/半額免除)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 神戸大学、法科大学院入試過去問解説講座 / 大阪大学

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、夏ごろまでは予備試験に向けた勉強のみをしていたが、法科大学院入試が近づいてきたため過去問を確認してみると、試験時間や出題傾向が予備論文とは大きく異なると感じた。そこで、法科大学院入試合格に必要な記載量の目安や、頻出論点等を知る必要があると考えた。ネットで調べてみると、アガルートアカデミーには法科大学院入試過去問解説講座というものがあることを知った。サンプル講義を視聴してみると、各法科大学院の入試制度の特徴や出題傾向、解答例等が詳しく解説されていて、まさに私が求めているものだった。特に、解答例の解説において、「理想としてはここまで書きたいところだが時間的に厳しいのでこの部分は端折っても問題ない」、「ここは差がつくところなので多少時間を使ってでも丁寧に事実認定したいところ」など、答案戦略についての言及が多く、法科大学院入試に向けた勉強への着手が遅かった私にとっては、非常に有益と考え、アガルートアカデミーを選ぶに至った。

合格体験記

まず、予備試験の論文問題の読み込みで基礎ができたと思う。この際、起案自体はあまり行わず、答案例を何度も繰り返し読む作業を中心に行った。その際、今読んでいるこの部分で何点加算され、何割の受験生が書けるのかを考えながら読むことを意識した。上記作業は、答案例の最初数行を読んだ段階で問題文から答案例の最後まで想起できるようになるまで繰り返した。

その後は、法科大学院入試過去問解説講座を受講し、入試過去問の答案例もひたすら繰り返し読みこんだ。この時点で、予備論文と入試過去問で問われた論点に限っては書き負けない状態にした。もっとも、その他の論点が問われた場合には、問題文の事実から逆算し無難な規範を自作して短めに三段論法で済ませる程度の仕上がりでよしとした。というのも、入試は極めて試験時間が短く、どの論点も丁寧に記述しては到底間に合わないからである。

また、本命の入試前に別の大学院の入試をいくつか経験したことは、昼食・間食・飲み物の選定、休憩時間の過ごし方、ペース配分等、改善の余地を発見できるいい経験になった。

令和6年度

法科大学院入試合格

使い勝手が非常によくストレスなく勉強できた

H. Wさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東北大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 東北大学 (前期)

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

志望していたロースクールの過去問の解答解説講座を行っていたのがアガルートだったので選びました。とても幅広いロースクールを取り扱っているのが自分にぴったりの講座を選べる点は何よりの魅力です。

実際に講座を購入する前にはYouTubeで公開されているサンプル講座を見て確認しました。講師の先生が完璧な答案ではなく、受かる答案、実際に書けそうな答案を作って解説してくださるところがいいと思いました。

アガルートの講座は自分に必要な講座を見極めて受講できるので、必要最小限の努力で自らの目標達成をするとてもいいツールです。

またオンラインで開講しているので自分の好きなペースで自分の好きなところで受講することができます。私は気分に合わせて家、図書館、カフェなど場所を変えたり、時間がない時には動画を倍速で見ることによって無理なく勉強を続けることができました。マイページの使い勝手も非常に良いのでストレスなく勉強できます。

合格体験記

基礎事項はとにかく早く1周できるようにわからないところがあってもとまらないように意識して勉強しました。基礎事項の確認をした後は早めに志望校の過去問を解いて傾向を確認しました。

東北ローは繰り返し過去問から出題される科目と傾向がつかみにくい科目があったので、

繰り返し出題される科目から優先的に過去問を繰り返し解きました。傾向がつかみにくい科目についてはまんべんなく勉強し、あまり深入りしないように心がけました。過去問の他には、予備校の問題演習本を3周ほど回して答案の型を思い浮かべられるようにしました。この段階でフルスケールで答案を書く必要はないように思います。並行して論証を覚えらるるよう何周か見ました。丸暗記にならないように理解しながら覚えることを心がけました。入試の1か月前には実際に当日の時間配分で解いてみる日を作りました。お腹のコンディションや書きやすいペンの選択などで参考になる部分がありましたのでおすすめです。

令和6年度

法科大学院入試合格

自分なりに作成した答案例を何周も読みこんだ

河野 綾佑さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

九州大学 (既修)

受講していた講座

労働法 / 4 講座パック、予備試験 1 年合格カリキュラム、法科大学院入試ステートメント対策講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 九州大学 (一次)、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

採点実感から読み解く合格答案の「型」習得講座 / 基礎編 + 実践編パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私が受験した九州大学法科大学院の過去問についての情報が、少なかったことや、過去問の解説に安心感があったことが決め手です。

九州大学法科大学院のウェブサイト上の入学者選抜情報では、全年度の過去問のほか、直近3年分の過去問についての出題趣旨を掲載しているのみでした。そのため、独学であると、過去問において、いかなる論述が要求されているのかを誤って捉えてしまう可能性が高いと考えたため、予備校を利用しようと考えました。そして、予備校を選ぶにあたっては、当然のことですが、信頼のおける講師の解説を見て、過去問の分析を行いたいと考えました。過去問の解説を行う予備校が、アガルートのほか見当たらないなか、アガルートの講師は、2013年度の司法試験を総合4位で合格しており、そんな講師の解説であれば、安心して分析を行えると思いました。

以上の理由から、アガルートを選びました。

合格体験記

私は、大学2年次から法曹コースに所属しており、同コースの講義では、基本的な事例問題を通じて、答案練習及びその添削を受けました。これによって、基本法律7科目の事例問題の答案の書き方や論点などの基本的な法律知識を身に着けました。

大学3年次からは、他の予備校の短文事例問題集を使用していました。民法、商法、民

事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、憲法、行政法の順序で、問題集を1周ずつ検討することを行いました。基本的には、答案構成をしながら問題を検討していましたが、書き方に不安が残る分野・論点等については、答案構成のみならず、それを実際に答案に起こすまでの検討を行いました。1周にかかる時間はまちまちでしたが、時間をかけすぎると、何周も周回することによって記憶の定着を図るということが、困難になると思い、1教科を1週間以内に1周できるようにしていました。また、問題集に記載の論点を自分でWordにまとめ、試験前日まで、何周も繰り返し読みました。

合格をした4年次においては、アガルートの九州大学法科大学院の法科大学院入試過去問解説講座を受講しました。私は、九州大学以外の法科大学院を受験しなかったため、他の大学院の解説講座は受講していませんでした。行政法以外の試験科目は、本講座を使用して、過去問を3周しました。私の受験した九州大学法科大学院は、1科目あたり50分かけることのできる試験形式であるため、デジタル時計で時間を計り、各科目50分以内に答案を作成し、その後、講師作成の参考答案を見ながら、講義を視聴するというのを1周目に行いました。その後の2～3周目は、講義内容を理解できなかった問題のみ、1周目と同様の手順で行い、それ以外の問題については、講義の視聴を行わず、答案を起こしたのちに参考答案を見て復習を行うという手順により、検討を行いました。行政法については、テクニカルタームについての知識を問うという、基本的な事例問題とは異なる問題形式であるため、上記の方法による検討ではなく、知識をインプットするために過去問を使用しました。具体的には、講師の作成した答案例及び基本書を参考に、全年度の過去問について、自分なりに答案例を作成したものを何周も読みこむことで、合格に必要な知識を身に着けました。

以上の学習により、九州大学法科大学院に合格することができました。

令和6年度

法科大学院入試合格

将来のために何か資格を取りたいという 思いから

R. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

東京大学 (既修)、早稲田大学 (既修/全額免除)、中央大学 (既修/全額免除)

受講していた講座

倒産法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム、予備試験 口述試験対策講座、予備試験論文式解答解説

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学入学時は法曹志望ではなかったが、将来のために何か資格を取りたいという思いから予備試験合格を目指した。そのため、大学院の進学は考えておらず、バイトやサークルもしていたので、できるだけお金・時間のかからない方法で効率よく勉強したいと考えていた。また、大学受験の際に周りの人との勉強量等との差を気にしてしまい勉強がはかどらないことがあったので、オンラインでの受講を希望していた。

そして、いろいろな予備校や勉強法をインターネットで調べるうちに、アガルートは、他の予備校よりも価格が安くかつ自分のペースで質の良い授業を受けられると感じた。また、法学部ではあったものの、司法試験合格を目指して勉強するという意味では法律の勉強は初学者であったことから、1か月に1回、カウンセリングがあり、自分の勉強の進捗状況や相談ができる、という制度が魅力的であった。加えて、論文試験合格のためには、他者からの添削が最も有効な勉強方法だということを知り、数十問の添削をしてもらえて答案についてのコメントまでついてくる、という制度は、コストパフォーマンスが良く、お得であると感じた。

合格体験記

大学2年生の春頃から講座を受講し始めたが、インプット講義は理解が追い付かず、あまり集中できない時期が続いていた。ただ、1回目のアウトプット講義を聞いているうちに、問題の出題がどのようになされるかを知ることができ、本当に少しずつではあるもの

の、記憶に定着してきた。繰り返しアウトプット講義を受けることで何が記憶すべき知識なのか分かり法学部での授業も理解が進むようになり、定期試験でも良い成績を出せるようになった。アガルートと大学の授業の相互作用で、法律を体系的に理解することができたように思う。

また、予備試験合格を目指し、大学3年の春から短答問題をみっちりやったことで、短答試験終了後に再び論文問題を解くと、以前よりも問題が解けるようになっており、重問の進みも確実に早くなった。

論文対策として、ひたすら重問講座や過去問を徹底的に解いた。その際に、1回解いて満足するのではなく、1日後、1週間後、2週間後に、同じ問題の答案構成をするなどして復習を行い、記憶に定着させることを意識した。それにより、論文式試験を解くための型を習得し、合格することができたと感じている。

令和6年度

法科大学院入試合格

高校までは運動一筋だった

古賀 旭さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

慶應義塾大学 (既修)

受講していた講座

司法試験 / 個別指導

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

大学1年生の夏から法曹コースを目指すという覚悟を決めて、法律の勉強を始めました。

まず最初に選んだのが他の予備校で、2年ほど他校で勉強していましたが、指定の講座を取り終えたあと、どうしても大学4年生で予備試験に受かりたいという思いからさらにフォローアップが手厚いサービスを利用しようと思い、先輩に相談したところアガルートの個別指導がかなり為になったときき、個別指導だけを受けることにしました。

インプットは他校の教材を使っていましたが、個別指導だけなら新しい教材を使う必要もなく、さらに努力を積み上げていくシステムができており、かつ、論証や判例も直近のものまでアップデートが進んでいるのがアガルートだなというのが感想です。

現在は自然とアガルートの教材も使うようになっており、自分なりの仕組み化ができています。

ここから大学院に入りながらもアガルートだけは続けて、大変なロースクールを乗り越えながら予備試験に受かりたいと思っています。

合格体験記

もともと、高校までは運動一筋でやってきたのもあり、大学でも最初はスポーツをやろうと思っていましたが、学校の部活側の都合やコロナというのもあり先が見えない中で中途半端に不完全燃焼にならなかつたので、勉強の道に進もうと思ったのがきっかけです。

とはいえ、最初から法科大学院が第一のゴールではなく、自分の目標はあくまで予備試験の合格を目指して勉強をしてきました。ただ、勉強をずっとカリカリしていれば人間的

魅力が上がるのかと言われるとそうでもなく、そんなの後からなんとでもなるよと言われればそうかもしれないのですが私は大学なりにできることもたくさんあると思い、友人と海外の取引先と事業をしてみたり、施設を丸々貸し切る企画などもしてみたりと若いからこそ許されることを若いうちにしようというモットーも持っていました。その中で自分の中で決めたマイルールが授業は最前列で絶対に受けるということでした。

そして、それさえ守れば学校の成績を取ることができ、大学院には合格できたという次第です。

大学院に飛び級して入る以上はここからは覚悟を決めて、2年間勉強だけに没頭する時期もありかなと思っています。

令和6年度

法科大学院入試合格

大学にも多数の受講者がいて、勉強仲間ができた

R. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

中央大学 (既修)

受講していた講座

予備試験1年合格カリキュラム、経済法 / 3講座パック、総合講義 300

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は大学入学とともに司法試験予備校の利用を検討し始めました。しかし、当時はコロナ禍で学習環境に対する不安も大きかったため、通学タイプの予備校ではなく、アガルートアカデミーのようなオンライン学習が最適であると考えました。

もっとも、オンラインでの学習では勉強仲間をつくるのが難しいため、モチベーションの維持には多少の不安もありました。しかし、アガルートアカデミーは大手予備校の中でも利用者数が多く、実際、私の通っている大学にも多数の受講者がいたため、通学をせずとも勉強仲間をつくることができました。

その他の理由としては、カリキュラムに柔軟性がある点も決め手でした。アガルートアカデミーには、学習計画モデルがあり、これの通りに学習を進めることもできますが、個人の都合に合わせて、自由に進度を調整することも可能です。そのため、大学の講義等の学習順序に合わせて受講することができ、結果として消化不良になりにくい状態になったと感じています。

合格体験記

よく言われていることではありますが、法律学習では、同じ範囲を何回転もすることで徐々に学習の深度を深めていくことが大切です。そこで、初期段階ではとにかく早く全体像を掴むことを意識して学習していました。具体的には、総合講義を倍速再生で聞き、わからない所があっても、一旦付箋を貼る等にとどめてあまり深追ひしないようにして勉強

を進めました。

ある程度学習が進んでからは、基本書や判例集など、大学の授業で使用している手持ちの教材も合わせて学習していましたが、基本書等で勉強する場合にも、適宜総合講義等を参照していました。アガルートアカデミーの教材は、過去の試験問題での出題歴が記載されているため、実際の試験で何が問われるのかを把握した上で学習を進めることができました。これにより、学習にメリハリがついて、知識の定着率も上がったと思います。

重要問題習得講座・論証集に掲載されている論点一覧表は、各科目の重要論点を網羅的にチェックする上でとても使いやすかったです。アガルートアカデミーは、論点の網羅性が高いという評判を聞いており、ここに載っている論点を網羅しておけば相対的に沈むことはない！と自信をもって試験にのぞむことができました。

令和6年度

法科大学院入試合格

安価なカリキュラムが魅力

A. Oさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

中央大学 (既修／半額免除)

受講していた講座

知的財産法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は大学生であり、お金がないため、価格が安く、自分のバイト代で教育ローンを使えば支払いができると思い、アガルートを選びました。また、総合講義や重要問題習得講座などカリキュラムが豊富であるため、その点も考慮しました。他の予備校も検討しましたが、アガルートの2倍以上の価格帯のものも多く、自分でカリキュラムを選ぶのも難しく感じたため、アガルートの1年合格カリキュラムにしてよかったです。

大学の友人もアガルートを利用している人が多く、大学でアガルートの講座を利用して、討論をしたり、起案したりもしました。

また、体験動画を視聴したところ、講師の講義が分かりやすく、大学の教授とも全く違う視点から授業をしてくれたため、アガルートに通う価値があると感じました。大学の学術的な授業ではなく、司法試験のためのテクニックも教えてくれるため、本気で合格したい人は、予備校に入るのが一番近道だと思います。アガルートを選んでよかったです。

合格体験記

まず、総合講義を視聴しました。大学4年まで全くやる気がなかったので、総合講義を3年間かけて視聴しました。

大学4年の4月から重問を解き始めました。最初は全く解けなかったため、問題を読み、解説・模範解答を読むという作業を受験科目×2周しました。3周目からはなんとなく論点が分かるようになり、4周目からは答案構成ができる問題が増えてきました。受験前日まで、答案構成ができなかった問題を回して、回す問題を減らしていきました。また、重問を回していくうちに、論点の結論がわかるようになったため、論証集を使って、結論に

いくまでの理由を覚えるようにしました。重問は5～8周はしたと思います。

論証集は、重問で出てくごとにチェックし、勉強に疲れた時に、論証集をぶつぶつぶやきながら、1時間ほど歩いていました。

また、過去問についてですが、面倒くさかったので、どの大学も過去問は解きませんでした。

重問の答案構成ができて、論証集をある程度覚えていれば、過去問を解かなくても法科大学院に合格できました。

令和6年度

法科大学院入試合格

普段は仕事もある社会人

Y. Oさん (30代後半)

社会人

合格した法科大学院

名古屋大学 (既修)

受講していた講座

法科大学院入試過去問解説講座 / 名古屋大学 (一次)

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

他の予備校には法科大学院に特化した対策講座がありませんでした。法科大学院入試は法科大学院ごとに過去問は公表がされているものの解答が公表されているわけではないため、問題を解いたところで合っているのか間違っているのかが明確には不明でした。そのため自分のモチベーションを高めるためにもお金を支払い解答と講師の説明を聞く形で対策をすすめたいと思い受講を決意しました。

また、金額も他社の単価講座に比べると高額というほどではなかったため、自分用への少々高額なお守りとしての位置付けで購入を決意できました。

近年ではアガルートの講座を受講している人も非常に増えてきたこともありますので、普段は私は別の司法試験予備校で受講をしているもののアガルートの講座、授業がどのようなのか体感してみたいという思いもありましたので比較する意味合いもありました。

結論として講座を申し込んだことで過去問対策しなければ勿体無いというモチベーション維持に繋がったため良かったです。

合格体験記

私は法学初心者で勉強開始から10か月で名古屋大学大学院入試にのぞむスケジュールで進めておりました。また社会人ですので普段は仕事もありました。

そんな環境の中でどのように勉強したのかといいますと、月並みですがとにかく基礎問題を何度も何度も回して知識に抜け漏れがあった場合に都度テキストに戻るというやり方で進めています。

また、アガルートの法科大学院入試過去問解説講座については基礎問題のように何度も

解くというよりは過去3～4年分であれば問題の使い回しも少ないだろうという見立てのもとで回転よりも1週間に1年分解いてみて実力を試すためということを中心に使用しました。

しかし最終的に合格したからいいものの意外と試験では似たような問題も出されていたため、もう少し回転用とはいわなくとも復習や過去問解説講座からの知識のインプットをした方が効率的であり力になったに違いないと後から思います。過去問は慣れるためだけに使用するのでは勿体無いので多少回転させることをオススメします。

令和6年度

法科大学院入試合格

未習得の知識が明確になり、弱点をなくして入試本番に

S. Mさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

慶應義塾大学 (既修)、中央大学 (既修／全額免除)、明治大学 (既修／全額免除)

受講していた講座

総合講義 300、重要問題習得講座、論証集の「使い方」

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私は、学部2年生の時に法曹の道を志し、ロースクールへの進学を意識し始めました。3年時まで、特にこれといった対策を行っていませんでした。大学の授業では、司法試験や法科大学院入試に必要な知識だけでなく、それ以上に学術的な内容にまで深掘りします。そのため、自分の目標である司法試験合格、法科大学院合格に対して必要な知識、不必要な知識がわからず、学習の外延がわからない状態でした。このように、大学の授業のみでは、自分の目標に対して、最短距離ではないと感じていました。そこで、それぞれの法律の全体を効率よく学ぶことができる予備校の利用を決めました。様々な予備校がある中で、私はそれまで、市販のアガルートの論証集を利用していたこと、そして、それらを用い継続的な学習が可能であること。さらに、自宅や大学、図書館など様々な場所で学ぶことができ、何度も繰り返し受講することができるオンライン授業に魅力を感じ、アガルートを選び、受講しました。

合格体験記

本格的に学習を開始したのは学部3年次の後期期末試験が終わったタイミングである1月末からでした。大学1、2年次はただ漠然と大学の授業を受けるのみで、単位を取得するためだけに授業を受けるというような感じでした。3年次から徐々に大学の授業と並行して、難しいと感じていた民法を中心に各法律科目のインプットを進めていました。1月末からは重要問題習得講座を用い、アウトプットを中心にインプットも並行して行いまし

た。この重要問題習得講座のテキストは入試本番までに約4周ほどやりました。特に難しいと感じていた民法は約6周ほどやりました。入試前の期間は受験する法科大学院の過去問はもちろん、それ以外の法科大学院の過去問も解くことで入試の問題やレベルを体感していました。直前期には、アガルトの論証集を用い、各法律科目の全体を短時間で何度も総復習していました。論証集を用いた総復習によって、自分の中でまだ身についていない知識が明確になり、そこから重要問題習得講座に戻り、弱点をなくし入試本番に臨みました。

令和6年度

法科大学院入試合格

バイトやサークルの合間に勉強

M. Kさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

早稲田大学 (既修)

受講していた講座

倒産法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートには音声ファイルがあり、通学時間が長くてもそれを携帯にダウンロードしてオフラインの状態でも聞くことができたから。講座一つ一つの時間も比較的短く、隙間時間の活用によって学習をしやすくなっていた。また、フルカラーテキストのため味気のない真っ黒ではなく、見やすいテキストによって情報が整理されている気がした。サンプルの講座で民法の授業を見ることができて、その時に決めた。値段も決して簡単に手が出る値段ではない予備校が多数ある中で、その中でも内容等が充実していた。そして、セールが実施されていたため、オールインクルーシブの予備試験1年合格カリキュラムを購入した。すべてが揃っている割に安価で、内容的にも、機能的にも、安心して購入できたから。学校の定期テストのため、そして、一発で予備試験に合格しなくても、バイトやサークルの合間に勉強して、ゆくゆくは司法試験が受けられるレベルになるように活用しようと思って、アガルートに決めた。

合格体験記

まず、理解をしなくても1周するということを教えてくださったので、ひたすら講義を聞きまくりました。そして、ある程度周回してから、論文の書き方を学びながら、もう1周し、足りない知識を補う形で2周目を回したりしました。短答については、電車の通学の際に、短答過去問と紙とボールペンだけもって問題を解いていました。法科大学院の入学試験との関係でいえば、論証集を沢山回しました。具体的には、どのような規範をどのように、なんで使えるかを意識しながら、3日で上3科目を回し、2日で下4科目の論証集を回して、質より量で勝負しました。重要問題習得講座で勉強した、答案の書き方や論

証の貼り方に従って、本番では論証集の覚えたところを使えるか、使えるとしてどうして使えるか、使えないとして対比や似せることで、論証集で覚えた知識を再現しました。実際に、過去問で書く練習をしたときに、何を書けばいいかわからなかった時は、総合講義のテキストに戻って勉強なおしました。

令和6年度

法科大学院入試合格

初学者にもわかりやすい内容

廣瀬 仁さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

中央大学 (既修／半額免除)

受講していた講座

経済法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

司法試験対策を始めるにあたり、友達と一緒にやろうと勧めてくれたことが大きなきっかけとなりました。司法試験は非常に難易度が高く、何から手を付ければよいのか分からないという不安がありましたが、友達と一緒に学ぶことで、互いに励まし合いながら進めることができると感じました。特に、司法試験は長期間にわたる学習が必要であり、孤独感を感じることも多いと思いますが、友達と一緒に取り組むことで、その不安を軽減できると考えました。

さらに、アガルートを選んだ理由の一つとして、ちょうど割引キャンペーンが行われていたことも挙げられます。経済的な負担を軽減できることは、特に学生にとって重要な要素です。アガルートは質の高い教材と講義を提供しており、割引キャンペーンを利用することで、より手頃な価格で学ぶことができるのは大きな魅力でした。

また、アガルートのカリキュラムは体系的で、初学者にも分かりやすい内容になっている点も選択の決め手となりました。特に、基礎から応用まで段階的に学べるプログラムが用意されているため、何から勉強すればよいのか分からなかった私にとって、非常に助けになると感じました。さらに、オンラインでの学習が可能のため、自分のペースで学ぶことができる点も魅力的でした。

このように、友達の勧めや割引キャンペーン、そしてアガルートの充実したカリキュラムが相まって、司法試験対策を始めるにあたり、アガルートを選ぶことにしました。

合格体験記

大学2年生の初め頃に司法試験の受験を決意し、アガルートの講座を受講しました。総

合講義を受講し終えた後、重要問題習得講座を解き始めました。この段階では、重問の解答、解説の内容を暗記しようとすることに終始してしまい、あまり頭に入らず勉強が上手く進みませんでした。大学3年生の1月の時点で民法、刑法、民事訴訟法以外の論文を書いたことがない状態で、このままではいけないと思い基礎から勉強をしておきました。この時にインプットだけでは論文が書けるようにならないと感じ、インプットした単元に該当する重要問題習得講座の問題を解くようにしました。基本書やテキストをみながら、体系を意識して学習することで、初めて重要問題習得講座の解説、解答に書いてあることの意味を理解できるようになり、少し頭に残るようになりました。1月から3月は民法、刑法、刑事訴訟法を学習しました。4月から6月くらいまでは予備試験の短答式試験の勉強を短答過去問解説講座をつかってやりました。7月と8月に憲法と商法をやりました。商法は結局最後までやりきることができず組織再編などは未着手のままロー入試に臨みました。憲法は重問のみを使い、重問がモデルとする判例のみを学習しました。重問がモデルとしているのはいずれも有名かつ各権利のモデルケースとして答案に活かしやすい判例だったので大体の問題に一応対応できるようになりました。

令和6年度

法科大学院入試合格

講義を受けた後の達成感が勉強のモチベーションに

近藤 里穂さん (20 代前半)

大学生

合格した法科大学院

名古屋大学 (既修)

受講していた講座

予備試験最短合格カリキュラム、労働法 / 4 講座パック

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

アガルートアカデミーを受講しようと思ったきっかけは、知人によるお薦めです。知人にアガルートを利用して司法試験の勉強をしている人がおり、講義がわかりやすいと聞いたことがあったからです。また、合格実績も高く、比較的講座の価格が安かったため、アガルートアカデミーを選びました。私はロースクールに進学したいと考えていたので、できるだけ予備校費用は抑えたかったです。他にも、全てオンライン講座であることから、大学に通いながら自分のペースで場所を選ばずに進められました。1 講義あたりの時間が短いため、隙間時間にスマホで講義を受けることができ、1 つ 1 つの講義を受け終わるたびに講義を受けた後の達成感を得、勉強のモチベーションの維持に繋がったと思います。また、過去の司法試験や予備試験に出題された問題の範囲であることやその単元の重要性が一目瞭然にわかるカラーのテキストであったので、このテキストだけを頼りに勉強しようと思いました。

合格体験記

私は 3 年生になる頃から【2024・2025 年合格目標】司法試験/予備試験最短合格カリキュラム講座を受講し始めました。法学部生ですが、3 年生まで司法試験対策を意識して学部 の授業を履修していなかったため、全科目の総合講義 300 を受講しました。諸事情により 掲示されている学習スケジュールに間に合わず焦燥感を覚えながらも自分のペースで頑張りました。

まず受けるローの過去問を入手しどのような問題が出題されているのか確認し、YouTubeに掲載されているアガルトアカデミーのロー対策も拝見し、そこで全体像を掴みました。もちろん過去問を解けるわけがなく、ロー入試が10月だったので、その1か月前までは重要問題習得講座を満遍なくこなし、最後の1か月は他大学の過去問を含め5年分解きました。重要問題習得講座のテキストを信じて「本番に出る」と思いながら、模範解答を丸暗記するつもりで問題に当たっていました。過去問は制限時間を設けずに、量をこなすことを優先し、わからない場合は総合講義や重要問題習得講座、論証集を使って100点満点の解答を作る練習をしていました。

令和6年度

法科大学院入試合格

自分で必要な講座を選んで学習できる

Y. S さん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

早稲田大学 (既修/全額免除)

受講していた講座

重要問題習得講座、総合講義 100

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

私がアガルートアカデミーを選んだのは、私の周りの人がアガルートアカデミーの講座について良い評価をしていたことと、アガルートアカデミーの講座がセットものだけではなく講座を選んで買うことができるものとなっていたからです。私の先輩がアガルートアカデミーの総合講義と重要問題習得講座を受講して法科大学院の入学試験に合格しており、実力をつけるのに適した良い講座だということを聞き自分も講座を受けてみたいと思いました。また、法科大学院試験を受験するための勉強を開始するにあたり他の予備校の講座とアガルートアカデミーの講座を比較しましたが、他の予備校の講座は複数年かけて多くの講座を受けていく中で受験対策をするものとなっていた一方で、アガルートアカデミーでは、受講者が自分で必要な講座を選んで学習することができるものとなっており、対策に時間的制約があった自分にはアガルートアカデミーの講座を受ける方が良いと思いました。

合格体験記

私は所属している大学で法曹コースに入っており、法科大学院入試では、一般受験と特別選抜を併願することができたため、アガルートアカデミーの総合講義で基礎的な科目の知識を復習して大学の授業の理解を深めることと重要問題習得講座の演習を通して法科大学院入試で問われやすい部分の論述ができるように対策しました。総合講義を受講する際には、自分が理解している部分は1.2倍速で受講しつつ、理解していない部分は途中で講義を止めたり、わかるまで繰り返し説明を聞くことで穴のない知識が定着するように心がけました。また、総合講義講座で得た知識を答案に生かすために論証集で該当部分を確認

し、コンパクトな言い回しが自分なりにできるように参考にしました。また、重要問題習得講座の受講の際には、1周解き終わった問題を復習する際は、答案の論理の運びがどのようなものだったかを思い出してから解答例を確認し、なるべく自分が分かりやすい答案を書くことができるように練習しました。

令和6年度

法科大学院入試合格

進学のため学部試験で成績を取るのにも役立った

R. Sさん (20代前半)

大学生

合格した法科大学院

慶應義塾大学 (既修)

受講していた講座

国際私法 / 4講座パック、予備試験1年合格カリキュラム

合格体験記

アガルートアカデミーを選んだ理由

個性的なコマーシャルでネットなどの評判を調べる前からアガルートアカデミーのことは知っていました。そして資格勉強を始めようと思った時にネットでの評判を調べていたところ、総合講義300や重要問題習得講座の予備試験および司法試験勉強に対する網羅性がとても良いとの評判を見て、各教材を信じて勉強を進めれば一通りの知識を身につけられるのではないかと考えたことがきっかけです。

その後予備試験司法試験合格者のYouTubeビデオや法科大学院に合格された方の、アガルートアカデミーのホームページから飛ぶことの出来る合格体験記を読んで、みなさん各教材と講義動画を視聴し、信じて繰り返したことで必要な知識を身につけることが出来たというコメントや、他の予備校を利用していたが結局アガルートアカデミーの教材が合格のために必要なものであり、戻ってきたというコメントを読んで、講座の価格などの兼ね合いも自分の状況と合っていたので選ばせて頂きました。

合格体験記

私は大学のカリキュラムとして組み込まれている法曹コースを利用して早期卒業をした上で、大学院に進学できるという進路であり、いわゆる入学試験を受験して合格をいただいたケースではなく、大学の指定する法律科目の授業の単位を全て取得した上で、そのGPAが大学2年在学時に上位30パーセント以上、大学3年時に上位25パーセント以上である場合に早期卒業が大学の方から認められた上で、付属の法科大学院の方に大学3年生

の春学期の時点までの全ての成績表および自己推薦書のような、自分が法曹となった時にどのようなことを達成したく、どのようなビジョンをもって法科大学院に進学するつもりなのかなどについての文章を提出して合否を判断してもらい、合格を頂いたというものです。

このような進路を進んでいる上でアガルトアカデミーの教材は、大学の学部試験でコンスタントに一定以上の成績を取り続けるのに、基本的な事項が網羅的に分かりやすく記載されており、論文を書く上でも実践的な力がつくよう構成されていたので非常に役に立ちました。